

令和 6 年度

幼保小連携活動報告

令和 7 年 9 月

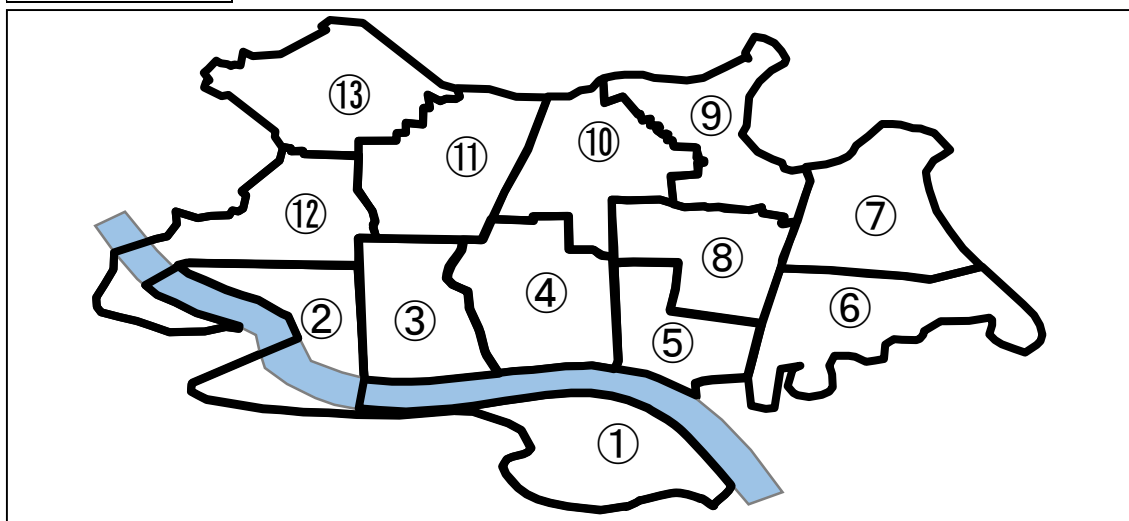
足立区教育委員会

子ども施設指導・支援課

目 次

I	幼保小連携活動の目標	3
II	各ブロック幼保小連携活動報告	
1	第1ブロック（千住地域）	6
2	第2ブロック（扇・江北・宮城地域）	12
3	第3ブロック（西新井・西新井本町・本木東地域 等）	16
4	第4ブロック（梅田・梅島・関原地域 等）	20
5	第5ブロック（足立・弘道・中央本町地域 等）	24
6	第6ブロック（綾瀬・東和・中川地域）	28
7	第7ブロック（大谷田・六木・谷中地域）	32
8	第8ブロック（青井・一ツ家・平野地域 等）	36
9	第9ブロック（花畑・南花畑地域）	40
10	第10ブロック（竹の塚・西保木間・保木間地域 等）	44
11	第11ブロック（伊興・栗原・東伊興地域 等）	48
12	第12ブロック（皿沼・鹿浜・新田地域 等）	52
13	第13ブロック（入谷・舎人・古千谷本町地域）	56
III	接続期教育研修 実績内容	61
IV	小学校第1学年アンケート項目別結果一覧	64

ブロック配置図



I 幼保小連携活動の目標

1 幼保小連携における区の考え方

幼児教育から小学校教育への滑らかな移行のため、3つのテーマに沿って教育・保育を展開していくとともに、小学校段階で定着度を調査し、幼保小連携活動の充実につなげていく。

	基本的生活習慣の定着	自発的な行動	学びの芽生え
就学前施設	話をする人に興味をもち、集中して話を聞くようになる。	食事マナーを意識して、楽しんで食べる。また、自分の持ち物に愛着をもち、使った遊具は片づけるようになる。	遊びや生活を通じて数字や文字を書くようになる。また、グループ活動を友だちと協力して取り組むようになる。
小学校	姿勢良く座り、前を向いて教員の話を聞くようになる。	食事マナーを身につけて、楽しんで食べる。また、自分の持ち物をはっきり認識し、大切に使い、整理する。	正しい鉛筆の持ち方で、文字や数字を書くようになる。また、グループ活動で、友だちの意見を尊重できるようになる。
アンケート項目	①あいさつや返事ができる。 ②姿勢良く座ることができる。 ③静かに話を聞くことができる。	④食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる。 ⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる。	⑥鉛筆を正しく持つことができる。 ⑦ひらがなで自分の名前が書ける。 ⑧友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる。

2 「小学校第1学年に関するアンケート」の実施について

令和6年度の幼保小連携活動の事業結果を分析し、今後の連携活動や子どもたちの指導支援へ活かすため、アンケートを実施した。なお、本アンケートは平成29年度から毎年アンケート項目を検討しながら、実施している。

(1) 対象

区立小学校1年生（全67校 児童数4,402人）
担任教諭による見取り（学校の生活状況や授業態度を観察）

(2) 実施時期

令和7年4月

(3) 実施結果

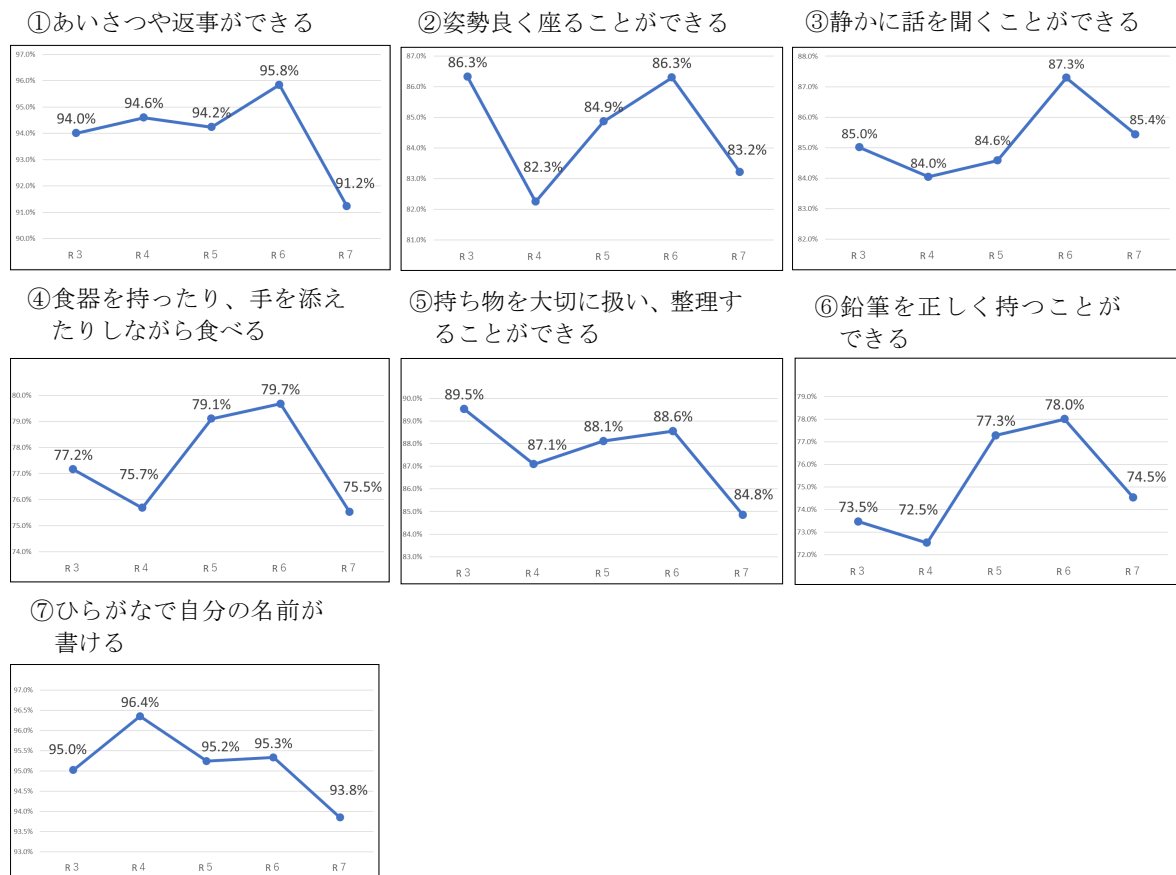
小学校第1学年に関するアンケート結果（令和6年度実績）

アンケート項目	結果	前年度比較
①あいさつや返事ができる	91.2%	↓4.6pt
②姿勢良く座ることができる	83.2%	↓3.1pt
③静かに話を聞くことができる	85.4%	↓1.9pt
④食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる	75.5%	↓4.2pt
⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる	84.8%	↓3.8pt
⑥鉛筆を正しく持つことができる	74.5%	↓3.5pt
⑦ひらがなで自分の名前が書ける	93.8%	↓1.5pt
⑧友だちと声かけあったり、関わったりすることができる	91.1%	-

*小学校第1学年アンケート項目別結果一覧及び経年表はP64以降参照

*対象者及び評価者は毎年違うため、毎年3ポイント程度の差が生じる。

アンケート項目別経年表



※ ⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」は令和7年度から項目追加のため、未掲載

(4) 分析

ア 継続した幼保小連携活動により、基本的生活習慣の定着率は一定の水
準を維持している。しかしながら、幼保小連携活動の目的を教員は教育
活動（学習指導等）と捉えていることに対し、保育者は保育活動（心身
の発達等）と捉えており、認識の違いなどから年度ごとに数値の変動が
みられる。

イ 特に数値が低い項目（食器を持ったり、手を添えて食べることや鉛筆
を正しく持つこと）は、上下はあるが、他の項目との比較では低い傾向
である。保育現場との取組だけでなく、家庭内の取組も重要である。

(5) 令和7年度取組方針

ア 好事例の集約及び共有

教員と保育者の連携強化を図るためには、子どもの発達や指導方法だ
けでなく、連携活動の好事例の共有も必要である。そのため、幼保小連
携アドバイザーが小学校と就学前施設へ訪問し、好事例を集約する。集
約した事例については、小学校と就学前施設へ共有していく。

イ 重点課題の設定

食器を持つことや箸を使うことにより、手指の発達を促し、小学校学
習指導要領に沿った筆記具を正しく持つことへつなげる必要性がある。
そのため、令和6年度に引続き、「食器を持ったり、手を添えたりしなが
ら食べる」ことを重点課題として設定し、就学前施設では保護者会等
を通じて、家庭内でも食器に手を添えて食べられるよう保護者からの声か
けを依頼していく。

令和7年度 重点課題

「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」目標値：90%以上（令和10年度まで）

Ⅱ 各ブロック幼保小連携活動報告

区内を13のブロックに分け、小学校・就学前施設に通う子どもたちの姿に合わせた幼保小連携活動を実施している。

また、教員と保育者が現在の子どもたちの現状を把握し、活動内容を検討するため、全ブロックで連携会議（以下、ブロック会議）を2回（6月と2月）開催している。本章では各ブロック会議で検討された課題や取組方針を紹介する。なお、施設都合等により、幼保小連携活動が未実施の就学前施設については、ブロック会議等で実施を促していく。

1 第1ブロック

千住地域の小学校6校及び就学前施設27園で活動している。主な活動として、体験給食（24園実施）、学校探検（15園実施）など実施している。

（1）第1ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
千寿	足立幼稚園	○				
	緑町保育園	○			○	○
	ういず千住大橋駅前保育園	○				
	クリアーサラー千住大橋保育園	○		○		
	アイグラン保育園千住大橋	○				
	まなびの森保育園千住大橋*					
千寿 本町	中条幼稚園			○	○	
	ステラ千住ふたば保育園	○		○	○	
	Jキッズルミネ北千住保育園	○		○	○	
千寿 双葉	千住寿幼稚園			○		
	元宿こども園	○	○	○	○	
	北千住もみじの森保育園	○	○			
千寿 常東	聖和幼稚園	○		○	○	
	日ノ出町保育園	○		○	○	
	北千住どろんこ保育園	○		○	○	○
	キッズガーデン足立柳原	○		○	○	
	北千住太陽保育園	○		○		○
千寿桜	北千住こども園	○				
	たんぽぽ保育所北千住園	○		○		
	帝京科学大学千住桜木保育園	○				○
	千住保育園	○	○	○		○

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
千寿 第八	千住あずま保育園	○	○	○	○	○
	せきや保育園	○	○	○	○	
	インターナショナルういず千住曙町保育園	○	○		○	
	アスク千住保育園	○	○		○	
	まなびの森保育園関屋	○	○		○	
	ぼけっとランド千住曙町	○				

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】千寿第八小学校・千住あずま保育園

ア ランドセル体験【参加人数：47名】

- ① 学校探検の一環でランドセルを背負う体験の他にほうきを使った掃除や運筆、黒板に日付を書く等の体験を行った。
- ② 1年生から説明を聞いて、園児たちは「やってみる」とはりきる姿があった。
- ③ 教室にある用具を使うことで、入学後のイメージが具体的になったようだった。
- ④ 交流後は、姿勢や鉛筆の持ち方を意識したり、話を聞こうとしたりする姿があり、就学への期待が高まった。

【参加園】北千住太陽保育園・日ノ出町保育園・千住あずま保育園

ア 保育園同士の交流①【参加人数：36名】

- ① 6月の保保連携の一環として、千住旭公園でおにごっこをしたり築山に登ったりして遊ぶ。
- ② 楽しく遊ぶ中で、「どこの学校に通うの？」などの会話や築山に登るときに手を貸すなど、自然な形で交流する姿が見られる。

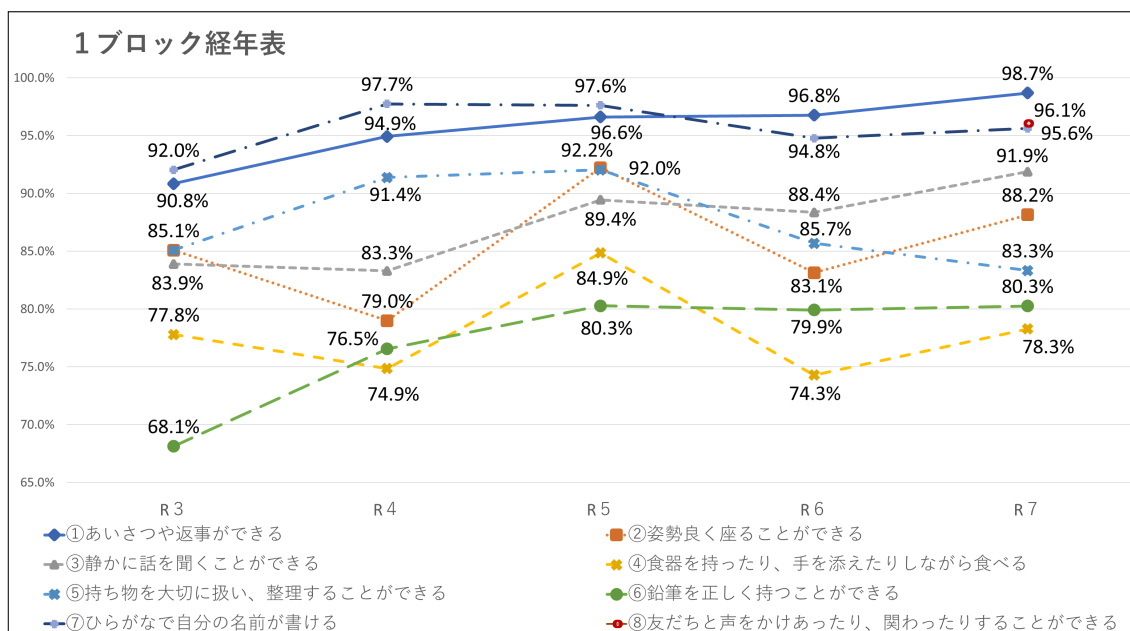
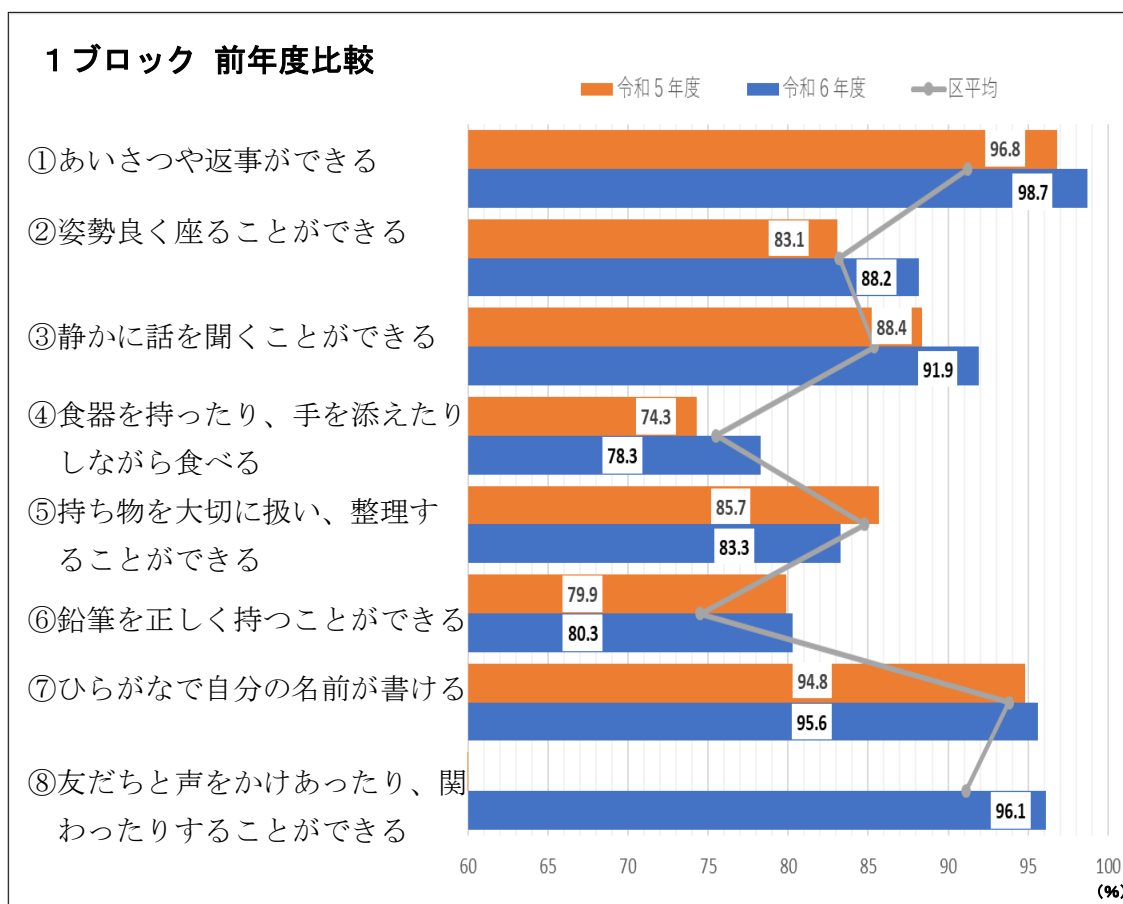


イ 保育園同士の交流②【参加人数：66名】

- ① 11月に千住あずま保育園でお店屋さんごっこをした。
- ② 同じ小学校に行く子どもたちでグループを作り、自己紹介後、各コーナーをまわる。
- ③ 自然と手をつなぎ、名前を呼び合うなど、互いに関わる姿が見られた。
- ④ 自園以外の園児と触れ合い遊んだことで、顔見知りの友だちが増え、就学への期待につながった。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

7項目で区全体平均を上回っている。特にアンケート①「あいさつや返事ができる」は区全体平均より7.5ポイント上回っている。ブロック会議では、区全体平均より低いアンケート⑤「持ち物を大切に扱い、整理することができる」を中心に5つの項目を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る）
取組方針	(ア)「ぐう・ぺた・ぴん」を合言葉に正しい姿勢をとる習慣を付ける。 (イ)教科書に掲載されているため、就学前施設でも共有する。 (ウ)良い例の写真の掲示やマナーの見本を示し、声かけを工夫する。
課題	アンケート④（食器の持ち方）
取組方針	(ア)給食時に教員が食器を持ったり手を添えたりして食べることを伝える。 (イ)皿の大きさや重さから落としそうな場合は、皿に手を添えることを励行する。
課題	アンケート⑤（持ち物の整理）
取組方針	(ア)持ち物が自分の物だという認識がないことが多い。 (イ)自分の持ち物や友だちの持ち物が床に落ちていても拾わない児童がいる。 (ア)しまう場所の明確化や良い例の写真掲示、日常的な声かけをする。 (イ)物が整理整頓されていることの気持ちよさや使いやすさを感じられるように、道徳の授業で積極的に取り上げる。 (ウ)自分の持ち物に名前を書くという習慣付けを保護者と協力していく。 (エ)定期的に道具箱のチェックをして、整理する時間を設ける。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方）
取組方針	(ア)手先の器用さ、体幹に関わる手だてを講じる。 (イ)鉛筆の持ち方だけでなく、スプーンやフォーク、箸の持ち方を確認する。

課題	アンケート⑧（友だちとの関わり）
取組方針	（ア）休み時間で友だちと遊ぶ経験を積ませる。 （イ）学習時にも、ペアでの話し合い活動を中心に、友だちと関わる良さを味わわせる。 （ウ）通級のコミュニケーションの教室とも情報を共有していく。

2 第2ブロック

扇・江北・宮城地域の小学校3校及び就学前施設13園で活動している。
主な活動として、体験給食（11園実施）、交流活動（10園実施）等を実施している。

（1）第2ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
江北	足立サレジオ幼稚園	○			○	
	江北さくら幼稚園*					
	上沼田保育園	○			○	○
	江北保育園	○	○	○		○
	にじいろ保育園江北	○		○	○	○
	江北すきっぷ保育園	○	○	○		○
扇	AIAI NURSERY 高野	○			○	
	大空と大地のなーさりい扇大橋園	○		○	○	
	さつき保育園	○		○	○	○
宮城	東京白百合幼稚園	○			○	
	宮城保育園	○	○	○	○	○
	三星保育園	○			○	○
	足立しらゆり保育園				○	

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】 扇小学校・AIAI NURSERY 高野・大空と大地のな一さりい扇
大橋園・さつき保育園

ア 学校体験【参加人数：47名】

- ① 2月に3園合同で扇小学校の1年生と交流を行った。
- ② 1年生が、園児に楽しく小学校の生活を知ってもらえるように、8つのコーナーを考えて準備をした（タブレット体験・塗り絵や折り紙・読み聞かせ・扇小学校クイズ・昔遊びなど）。
- ③ 園児は5～6人ずつ、各コーナーを体験した。
- ④ 初めは緊張していたが、1年生は園児一人ひとりに優しく丁寧に教えていた。
- ⑤ 園児たちは緊張が和らぎ、安心して楽しく交流することができた。
- ⑥ 保育園に帰ると、「学校、楽しかったね」「早く学校に行きたい」と、就学への期待がより高まっていた。



【読み聞かせ】



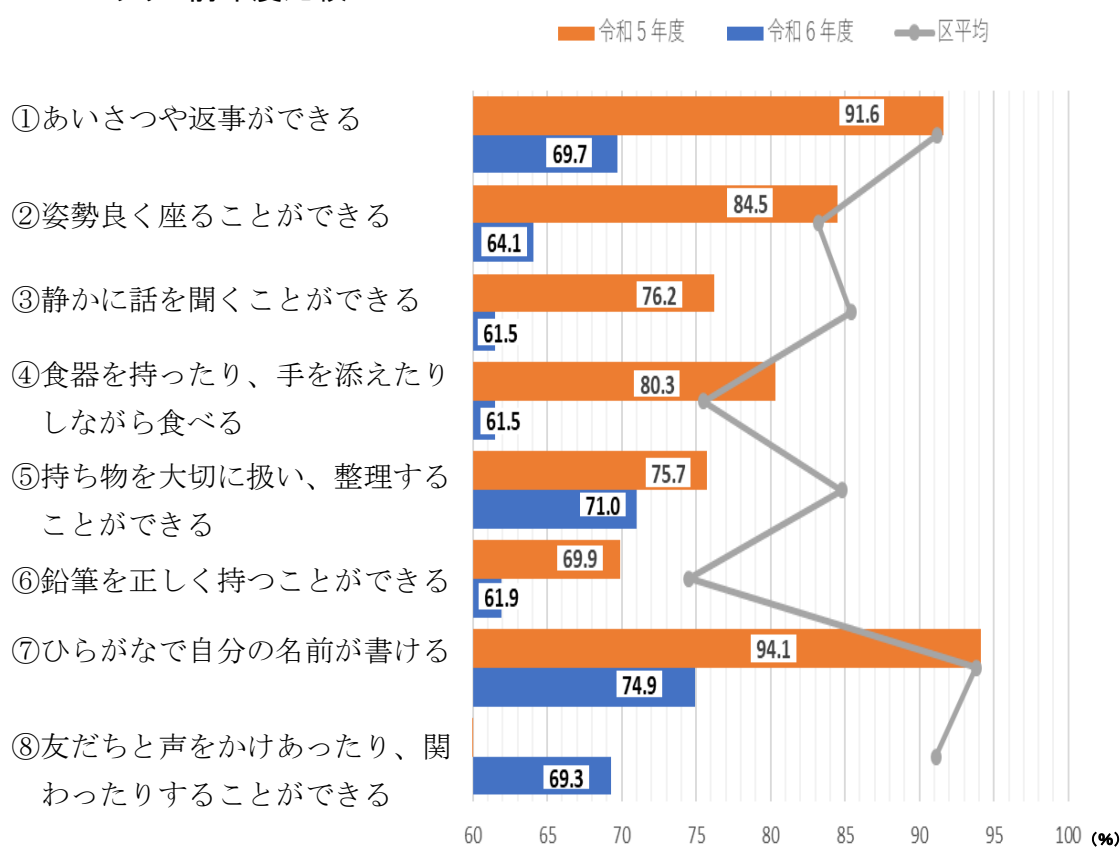
【扇小学校クイズ】

イ 担任協議会【参加人数：9名】

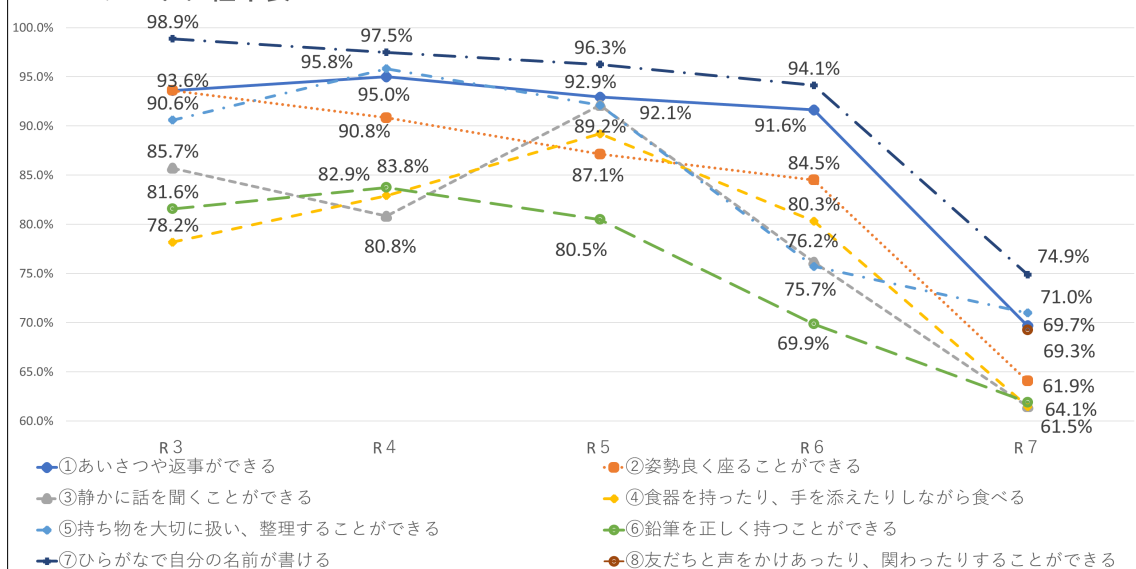
- ① 12月に1年生担任と5歳児担任が集まり、現在の子どもの姿、就学後に課題に思うこと、3月までに経験してほしいこと等の意見交換を行った。
- ② お互いに授業や保育に活かせるヒントを得ることができた。
- ③ 少人数の会議で教員と保育者のそれぞれの思いや意見を出すことができた。
- ④ 保育者は教員と話すことにより、就学へのイメージを具体的に抱くことができた。
- ⑤ 意見交換をすることで、お互いの教育で育てたい力や必要な環境構成、子どもへの関わり方などを共有することができた。

(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果（令和6年度実績）

2ブロック 前年度比較



2ブロック経年表



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

全ての項目で区全体平均を大きく下回っている。特にアンケート②「姿勢良くすわることができる」は区全体平均より20.4ポイント大きく下回っている。ブロック会議では、1年生の授業風景を教員と保育者が共有し、アンケート②「姿勢良く座ることができる」及びアンケート③「静かに話を聞くことができる」を中心に取組方針として検討した。

課題	アンケート③（静かに話を聞く）
取組方針	（ア）外部講師から指導・助言を仰ぐ。 （イ）担任の話し方を簡潔にし、箇条書きのように話す。
課題	アンケート②（姿勢良く座る）
取組方針	（ア）15分ごとに活動内容に変化をつけ、飽きさせないようにする。
課題	アンケート④（食器の持ち方）
取組方針	（ア）食器の持ち方の手本を示す。

3 第3ブロック

西新井・西新井本町・本木東地域の小学校5校及び就学前施設18園で活動している。主な活動として、体験給食（13園実施）、交流活動（12園実施）等を実施している。

（1）第3ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
西新井	西新井幼稚園	○			○	
	興野保育園	○	○	○	○	
	西新井教会保育園	○	○	○	○	○
	いづみ保育園*					
西新井 第一	西新井聖華保育園	○			○	
	愛恵保育園にしあらい	○			○	○
	チェリッシュ西新井	○			○	○
興本	興南幼稚園*					
	興本保育園	○			○	○
	キッズガーデン足立興野	○			○	
	アスク扇保育園	○	○	○		
本木	足立愛育幼稚園*					
	第一若草幼稚園*					
	本木保育園	○		○	○	○
	本木東保育園	○	○	○	○	○
寺地	足立双葉幼稚園	○	○			
	キッズガーデン足立扇	○	○		○	
	扇ころ保保育園			○	○	

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】本木小学校・本木東保育園

ア 学校体験・交流活動【参加人数：児童70名、園児18名】

- ① 12月に本木東保育園の園児と本木小学校の1年生が交流した。
- ② 1年生が教室で出迎え、挨拶をしたあとは、ランドセル体験をした。
- ③ 1年生はロッカーからランドセルを取り出し、園児に背負わせてあげようと手助けをしていた。
- ④ 園児は一人ひとりに机があることや、荷物の管理の仕方を知ることができた。
- ⑤ 体育館では、1年生が司会・進行を行い、「もうじゅうがり」「ジャンケン列車」を一緒に行った。
- ⑥ ルールの説明を真剣に聞き、参加していた。ゲームを繰り返すうちに表情も和らぎ、笑顔で楽しんでいた。

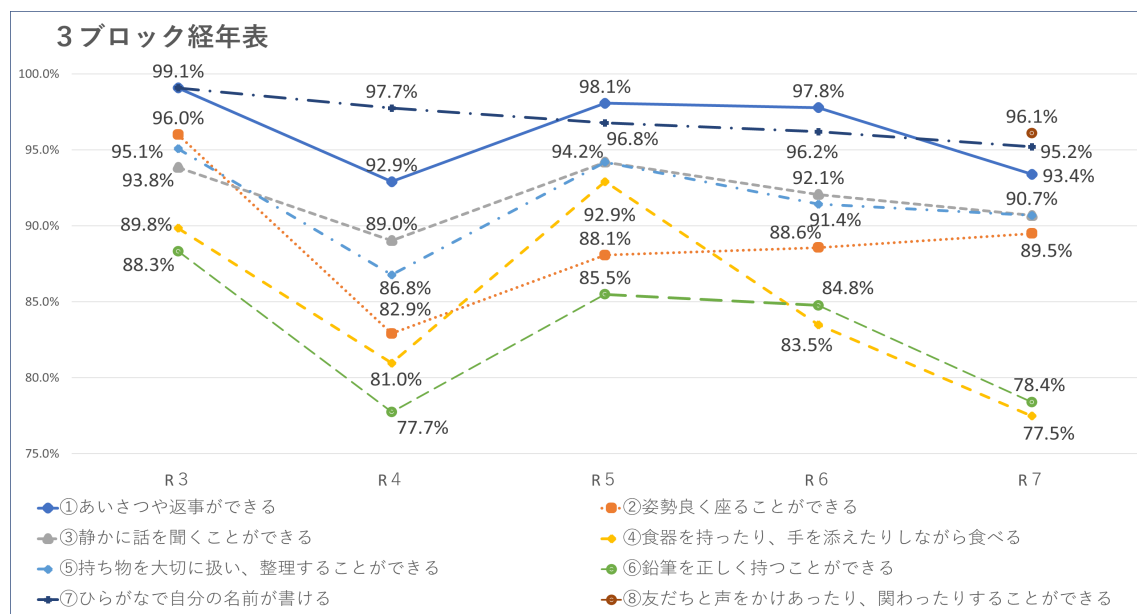
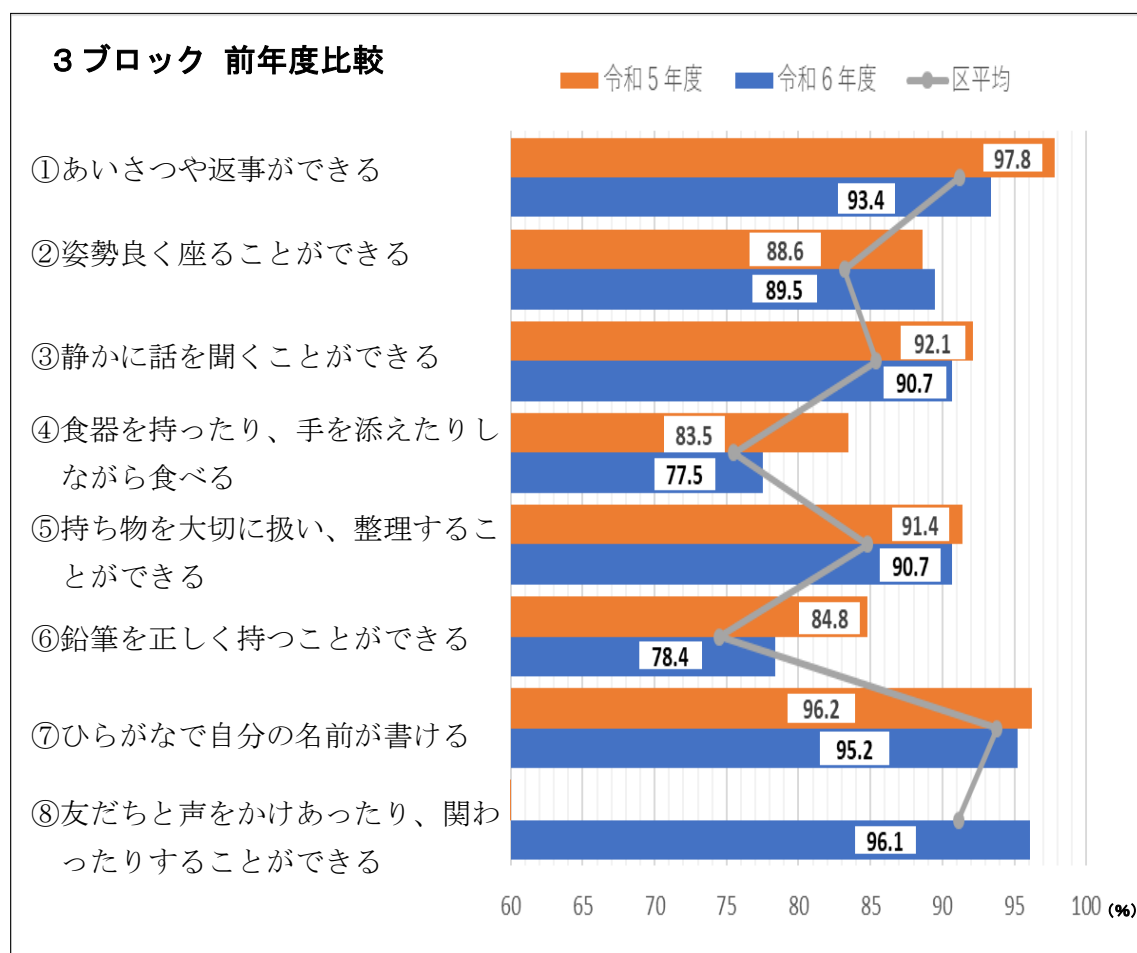


イ 体験給食【参加人数：18名】

- ① 園児はランチルームに移動し、給食を体験した。
- ② 園児は固形石鹸を使用する手洗いで戸惑う様子が見られた。
- ③ 園児はトレイを持って給食を自席まで運ぶ経験をしたり、学校栄養士から牛乳パックの扱い方の説明を受けたりした。
- ④ 体験給食中は普段より、意欲的に食べる様子が見られた。
- ⑤ 体験給食後、園児たちが「トレイを使った配膳をしてみたい」という希望もあり、給食時はトレイを使った配膳へ移行した。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

全ての項目で区全体平均を上回っている。特に5つの項目で90%を超えており、令和6年度から実施した「読書・読み聞かせ活動」の成果である。ブロック会議では、令和6年度を取組を継続しつつ、4項目を課題とし、取組方針を検討した。

課 題	アンケート②③（姿勢良く座る、静かに話を聞く） （ア）すべての項目で区の平均値を上回る達成率だった。 （イ）「読書・読み聞かせ活動」を就学前施設、各小学校で活動の楽しさを伝えていった成果である。
取 組 方 針	（ア）令和7年度も引き続き、就学前施設及び小学校で「読書・読み聞かせ活動」を実施する。
課 題	アンケート④⑥（食器の持ち方、鉛筆の持ち方） （ア）80%を下回っており、体幹や体・指先等の使い方についての検討が必要である。
取 組 方 針	（ア）体幹や様々な運動機能の活性化（多様化）を図っていく。 （イ）指先あそびや巧技台を利用した遊び等、自分から手指や体を動かすことができるよう環境設定する。 （ウ）子どもの姿を振り返り「やってみたい」という挑戦意欲を育てる。 （エ）友だちとの関わりの中で調整しながら見通しをもつ力や知的好奇心を高めていく。

4 第4ブロック

梅田・梅島・関原地域の小学校7校及び就学前施設23園で活動している。
主な活動として、体験給食（11園実施）、学校探検（10園実施）等を実施している。

（1）第4ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
関原	橘幼稚園*					
	専念寺幼稚園*					
	足立ひまわり保育園	○			○	○
	たんぽぽ保育所西新井南園	○			○	○
梅島	梅島幼稚園		○	○		
	うめだ「子供の家」		○			
	バンビ保育園梅島園			○	○	○
	エーワン梅島保育園*					
	ミアヘルサ保育園ひびき西新井			○		
	ちぐさ保育園*					
梅島 第一	こだま幼稚園			○		
	島根保育園	○		○	○	
	にじいろ保育園梅島	○		○	○	
梅島 第二	八千代幼稚園	○				
	梅田保育園	○	○	○	○	○
	親隣館保育園	○			○	
島根	栗原つくし保育園				○	○
	島根いちい保育園				○	○
	キッズガーデン足立島根				○	○
亀田	中部ひまわり保育園	○			○	○
	ミアヘルサ保育園ひびき梅島	○		○		○
栗原	西新井きらきら保育園	○		○	○	○
	ちゃいれつく西新井駅前保育園	○		○	○	

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】梅島第一小学校・にじいろ保育園梅島
サマーフェスティバル【参加人数：12名】

- ① 6月にサマーフェスティバルに参加した。
- ② 各クラスの催し物が書かれた案内図をもらい、子どもたちが興味のあるコーナーを自分たちで選び、順番にクラスをまわった。
- ③ 9マス鬼ごっこやボーリング、魚釣りゲーム、射的など、5歳児でも楽しめる催し物も多くあり、どの園児も楽しむことができた。

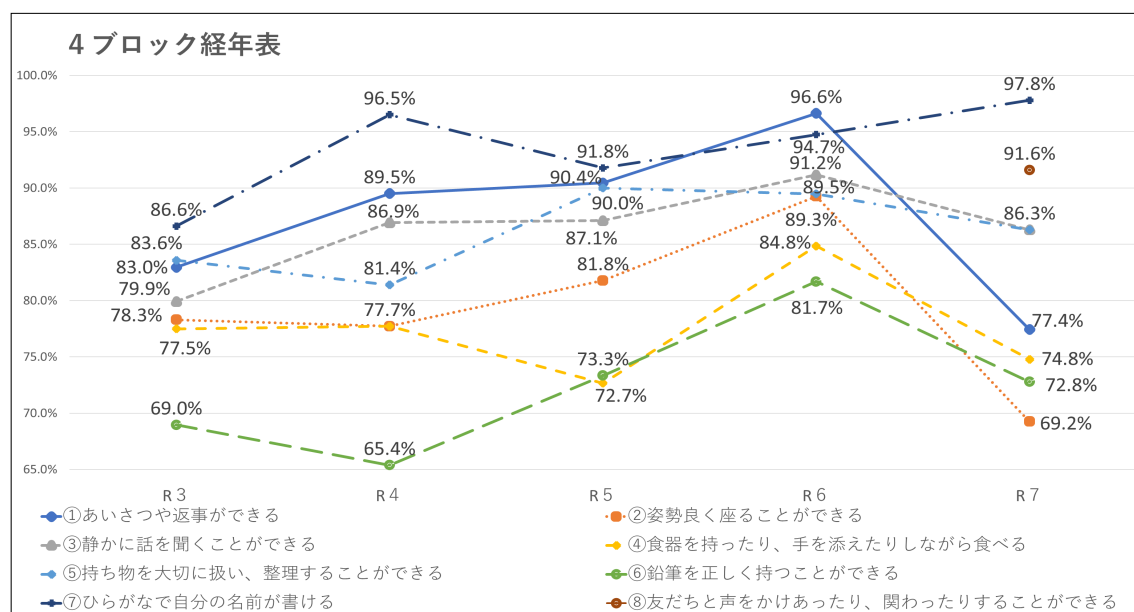
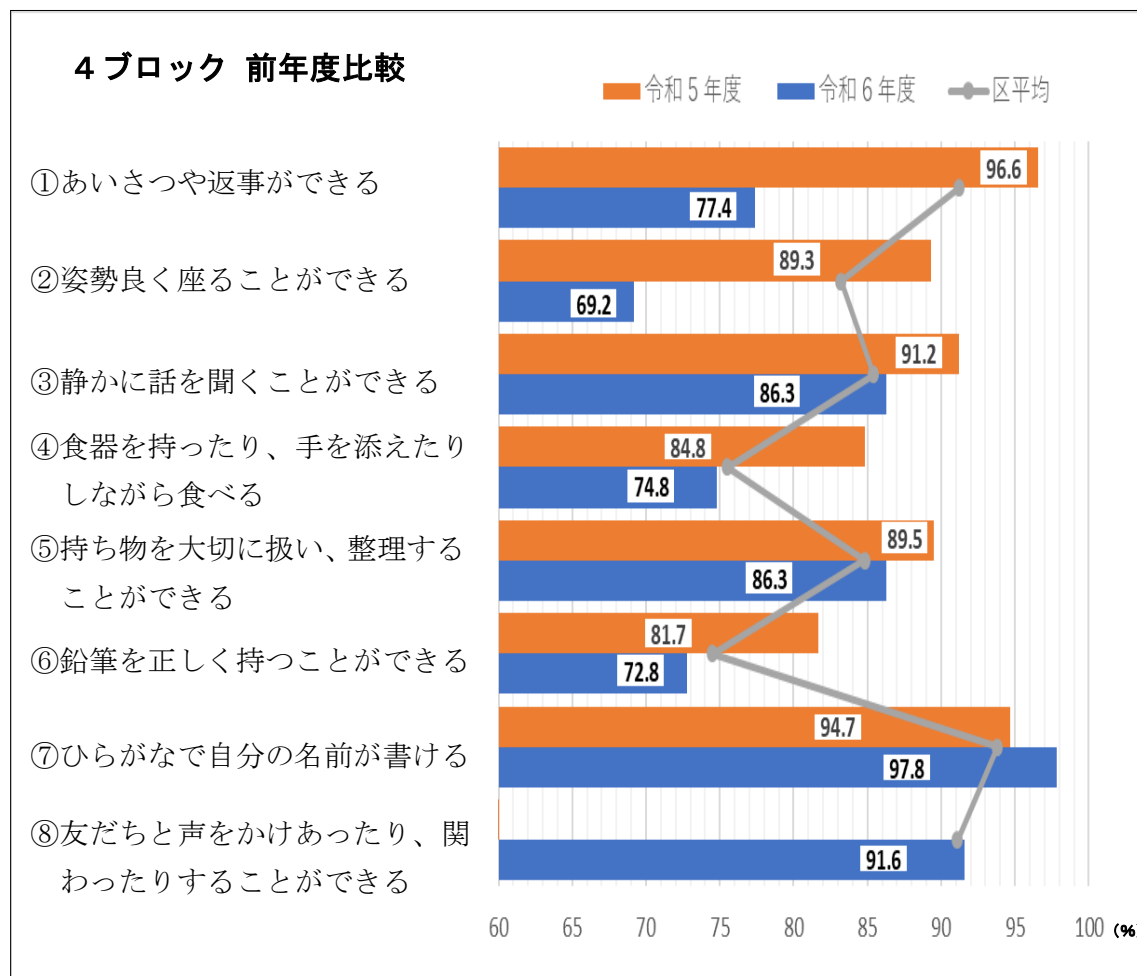


- ④ 高学年のクラスに行くと、迷路や謎解きゲームなど、少し難しそうな催し物もあったが、「やってみたい！」という園児の興味・関心が高かった。
- ⑤ 高学年の児童が優しく寄り添い、ルールを分かりやすく説明したり、一緒にゲームをしたりする姿が見られた。



- ⑥ スタンプラリー形式だったため、子どもたちにとっては良い思い出となった。
- ⑦ 鉄砲づくりなどサマーフェスティバルで経験したことを自分たちの遊びの中にも取り入れようとする姿が見られ、良い刺激となった。

(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果（令和6年度実績）



（４）１年生アンケートの結果を受けた課題および取組

４項目で区全体平均を下回っている。特にアンケート②「姿勢良く座ることができる」は区全体平均よりも、１４ポイント大きく下回っている。ブロック会議では、区全体平均を大きく下回った２項目を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート①（あいさつや返事） （ア）あいさつをしない保護者が増えている。 （イ）自分から進んであいさつができない。
取組方針	（ア）家庭内であいさつの意識をもってもらうため、家庭への啓発を行う。 （イ）日常の中で交わす挨拶を意識して行う。
課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）体幹が弱く姿勢が崩れやすい。 （イ）子どもの生活や遊び（主にゲーム）の変化が体幹の弱さにつながっている。 （ウ）場面ごとの集中力が欠けている。
取組方針	（ア）全身運動（粗大運動）や運動遊びを楽しむ経験を増やし、体幹を育てる。 （イ）良い姿勢を意識する声かけ（グー・ペタ・ピン）を行う。 （ウ）子どもが興味をもって座っていられるような声かけや取組を行う。

5 第5ブロック

足立・弘道・中央本町地域の小学校4校及び就学前施設17園で活動している。主な活動として、学校探検（11園実施）、交流活動（8園実施）等を実施している。

（1）第5ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
足立	春光幼稚園	○		○	○	○
	高和保育園	○		○	○	
	子ひばり保育園*					
	五反野保育園	○		○	○	○
	Aloha International Preschool 北千住校			○		
弥生	城北幼稚園			○		○
	中央本町保育園	○		○	○	
	足立さくらんぼ保育園	○		○	○	
	やよい保育園	○			○	
	ぱる★キッズ足立*					
弘道	弘道幼稚園					○
	五反野幼稚園			○		
	トレジャーキッズ あやせ保育園*					
	西綾瀬りりおっこ保育園			○	○	○
弘道 第一	のぞみ幼稚園			○	○	
	聖華こうどう保育園*					
	キッズガーデン足立青井	○		○		

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】足立小学校・弥生小学校・弘道小学校・弘道第一小学校・春光幼稚園・弘道幼稚園・城北幼稚園・五反野保育園・足立さくらんぼ保育園・キッズガーデン足立青井保育園・聖華こうどう保育園・中央本町保育園

ア 幼保小合同研修会【参加人数：教員20名、保育士15名】

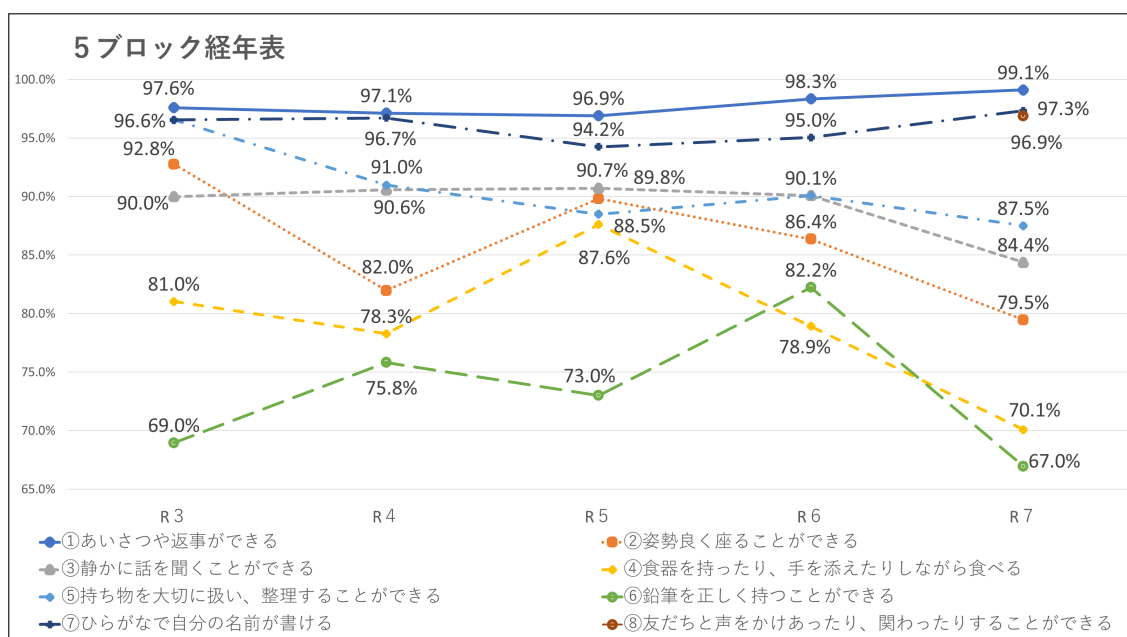
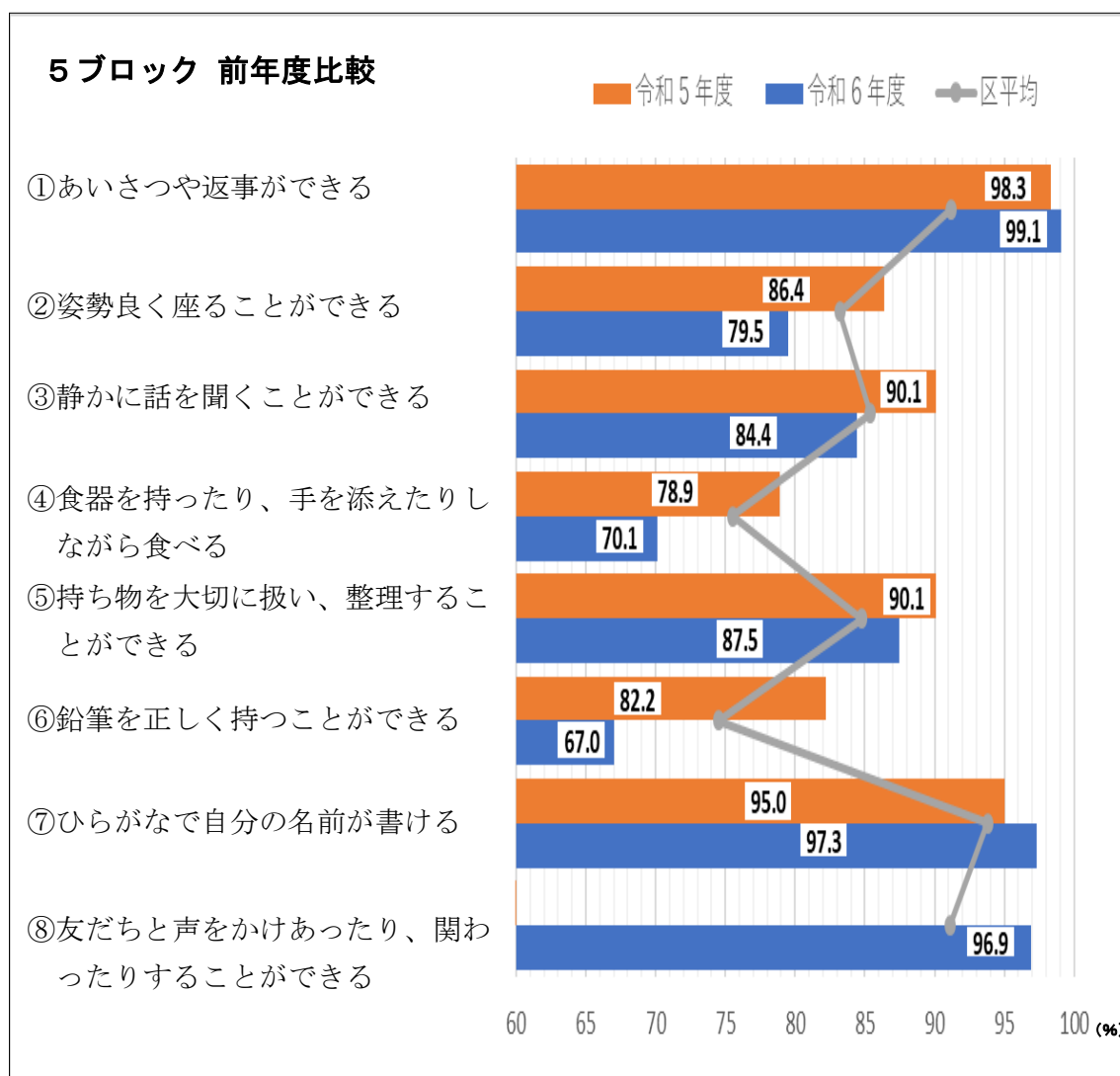
- ① 健康運動指導士を招き、「発育・発達」に基づく体づくりをテーマに研修を実施した。
- ② 研修では、姿勢の発達について講義を受けたのち、参加者全員で実際に体を動かした。
- ③ 参加者からは、子どもたちの発達や今後の姿勢維持の指導につながると好意見が多く寄せられた。

イ 幼保小合同研修会の主な意見

- ① マット運動や鬼ごっこなど、身体を全体で使いながら、楽しく行える活動を知ることができた。
- ② 「発育・発達」に基づく身体づくりについて、講義で一つ一つの動きの意味を知ることができた。
- ③ 楽しむだけではなく、実際に身体を動かし体験することで理解が深まった。
- ④ 赤ちゃんの頃の環境や動きが、姿勢保持につながっていくことがよく分かった。1年生の体育時のマット運動などで、ハイハイや動物の動きを取り入れていきたい。
- ⑤ 実際に身体を動かすことで、楽しさだけでなく難しさも感じた。子どもの実態に応じた活動を取り入れていきたい。
- ⑥ 小さい頃から正しい身体の使い方を知っておくことで、姿勢が悪くなりにくいと実感した。30分程度動かすだけでも改善されたため、学校活動の中で習慣化できる時間を設定していきたい。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

4項目で区全体平均より上回っている。特にアンケート①「あいさつや返事ができる」は、区全体平均よりも7.9ポイント上回っている。一方でアンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」は区全体平均よりも、7.5ポイント下回っていたため、ブロック会議では、アンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」を中心に80%を下回っているアンケート項目を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート②④⑥（姿勢良く座る、食器の持ち方、鉛筆の持ち方） （ア）区全体平均と比べ割合が低く、昨年度と同様の傾向である。
取組方針	（ア）令和6年度は子どもの体幹や様々な運動機能を活性化することを目的とした教員・保育者対象の研修会を実施した。 （イ）令和7年度は巧緻性（器用さ）に注目し、細かい指先の動きや身体のコントロールに対する理論や実践について、研修する。 （ウ）研修後、各施設、学校での日常的な指導・援助に生かしていく。

6 第6ブロック

綾瀬・東和・中川地域の小学校7校及び就学前施設24園で活動している。
主な活動として、学校探検（10園実施）、交流活動（17園実施）など実施している。

（1）第6ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
綾瀬	足立白うめ幼稚園			○	○	
	あやせ保育園			○	○	○
	東部若葉保育園			○	○	
	チェリッシュ綾瀬保育園			○	○	
	キッズガーデン足立綾瀬			○		
	コンビプラザ綾瀬保育園			○	○	
東綾瀬	東綾瀬保育園	○			○	○
	足立若葉保育園*1					
	東綾瀬きらきら保育園	○		○		○
	あやせババール園	○				
	恵・YOU保育園	○			○	○
東加平	チェリー幼稚園		○			○
	北綾瀬聖華保育園			○	○	○
	にじいろ保育園綾瀬				○	
東渕江	東保育園		○		○	○
	チェリー保育園				○	
	聖母のさゆり保育園				○	
	ソラストあだち東和保育園*1					
	どんぐり保育園東和*1					
北三谷	親愛幼稚園				○	
	美松学園幼稚園				○	○
	東和保育園			○	○	○
	HOPPA 東和親水			○	○	
大谷田	隅田学園*2				○	○
長門	隅田学園*2					○

*1 施設都合により調整ができなかったため、未実施

*2 保育園の隅田学園は2校と連携している。

- ①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組
- ②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組
- ③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組
- ④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組
- ⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】東綾瀬小学校・あやせババール園

ア 遊び交流、体験給食【参加人数：17名】

- ① 体育館で5年生と交流した。5年生は劇やクイズ形式で小学校生活を分かりやすく園児に伝えていた。
- ② 積極的にコミュニケーションを取ってくれたため、園児は楽しく参加することができた。
- ③ 3クラスに分かれて体験給食を実施した。子どもたちは、給食当番や配膳形式にとっても興味を示し、喜んでおかわりをしていた。
- ④ 体験給食後、給食の完食をめざす姿や、「小学校に行ったらテストで100点取りたい！」など、就学への期待を膨らませていた。

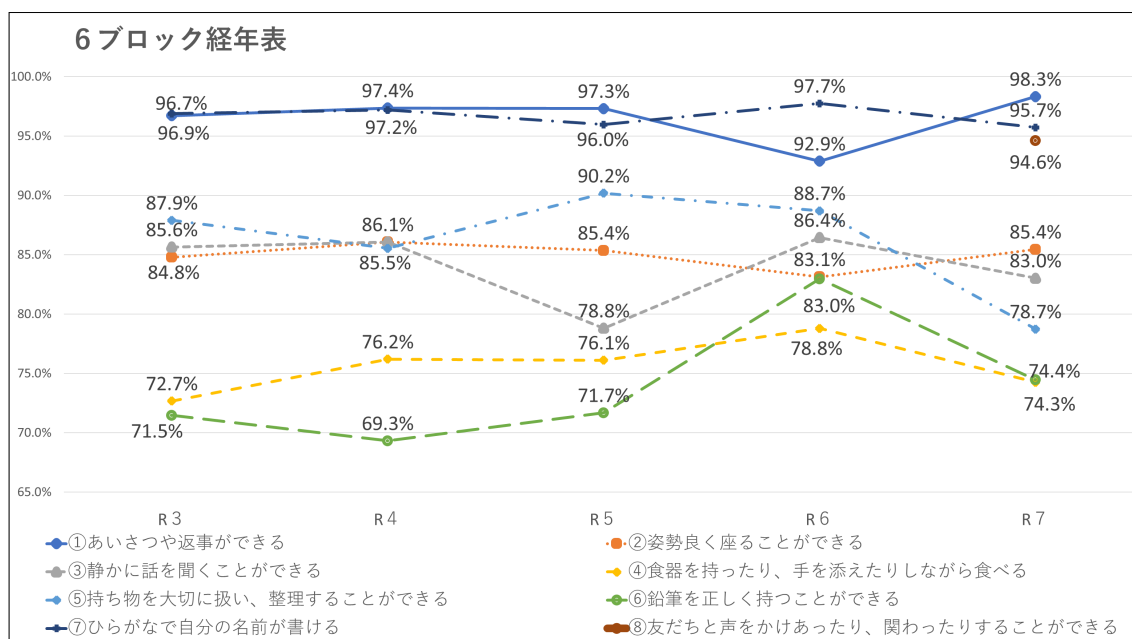
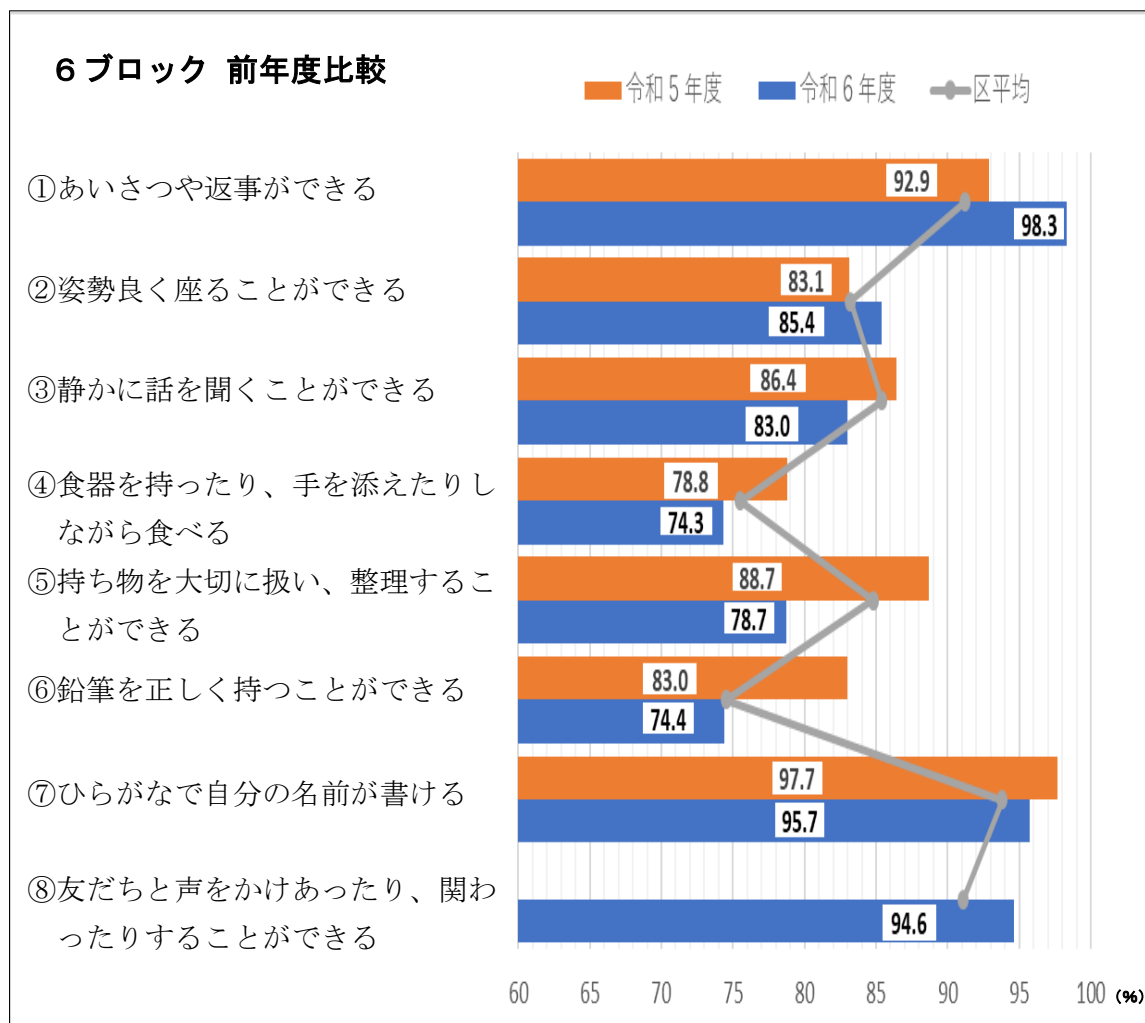


イ 公開保育【参加人数：11名】

- ① 8月に公開保育を行い、東綾瀬小学校の教員や他園の保育者と子どもたちの姿を共有した。
- ② 8月30日に『夜まで保育』で実施した“虫の博物館”では、開館に向けて、園児一人ひとりが得意なことに自信をもって取り組み、試行錯誤する姿が見られた。
- ③ 協議会では、友だちと協力する姿や、友だちを思いやる姿などに注目する意見が多く挙がった。
- ④ 保育者は協議会で挙がった意見を保育活動に生かしたり、子どもたちが主体となる保育の実践に取り組んでいる。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

4項目で区全体平均より上回っている。特にアンケート①「あいさつや返事ができる」は区全体平均よりも7.1ポイント上回っている。一方でアンケート⑤「持ち物を大切に扱い、整理することができる」は区全体平均よりも6.1ポイント下回っている。ブロック会議では、授業や給食時に姿勢が保てない子どもが多かった意見を踏まえ、アンケート⑤「持ち物を大切に扱い、整理することができる」に加え、アンケート②「姿勢良く座ることができる」も課題として捉え、取組方針を検討した。

課題	アンケート⑤（持ち物の整理） （ア）小学校でも、学習用具等の個人の持ち物が多くなるため、ロッカーや机上の整理整頓等については課題が見られる。
取組方針	（ア）就学前施設では、身辺処理の自立を促し、持ち物の整理整頓を生活や活動の中で繰り返し知らせていく。 （イ）小学校では、机やロッカーの中の整理整頓、学習用具の準備・片付けを指導していく。
課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）ブロック会議で「姿勢が保てない」「食事のときの姿勢がよくない」等の意見があった。 （イ）就学前施設と小学校で体力不足の現状と実態がある。
取組方針	（ア）就学前施設で、発達に沿った運動を十分に行っていく。 （イ）発達の道筋の中で、生活や遊びを通して適正な運動量で体を支える筋肉やバランス感覚を育てていく。 （ウ）小学校で外遊びや体育の授業等の活動を通して体づくりを行っていく。

7 第7ブロック

大谷田・六木・谷中地域の小学校5校及び就学前施設15園で活動している。
主な活動として、体験給食（11園実施）、交流活動（9園実施）等を実施している。

（1）第7ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
中川	大谷田第一保育園	○	○	○	○	
	足立北綾瀬雲母保育園	○			○	
	AIAI NURSERY 北綾瀬	○		○	○	
	チェリッシュ北綾瀬*					
中川北	黒川幼稚園			○		
	六木保育園	○		○	○	○
辰沼	辰沼保育園	○		○	○	○
	きたあやせこころ保育園	○			○	
	未来っ子保育園北加平町園	○			○	
	チェリッシュナーサースクールやなか	○			○	
中川東	東京いずみ幼稚園*					
	おおやたこども園	○			○	
	ナーサースクールいずみ大谷田*					
六木	六木幼稚園	○				○
	神明町保育園	○		○		

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】辰沼小学校・辰沼保育園

ア 学校探検【参加人数：15名】

- ① 校舎内を回り、職員室や教室、授業の様子などを見学した。
- ② 小学校がどのような場所かを知ったり、色々な教室を見学することで、小学校への興味や関心をもつことができたようだった。
- ③ 小学校と保育園との違いに気づき、発見を楽しむ中で小学校を身近に感じ、就学への期待感へとつながった。



【小学校の昇降口の広さに驚く様子】

- (ア) 「クラスは何人いるのかな？」と、人数に着目していた。
- (イ) 「たくさん友だちができそう」と、期待を膨らませていた。



【学校探検している様子】

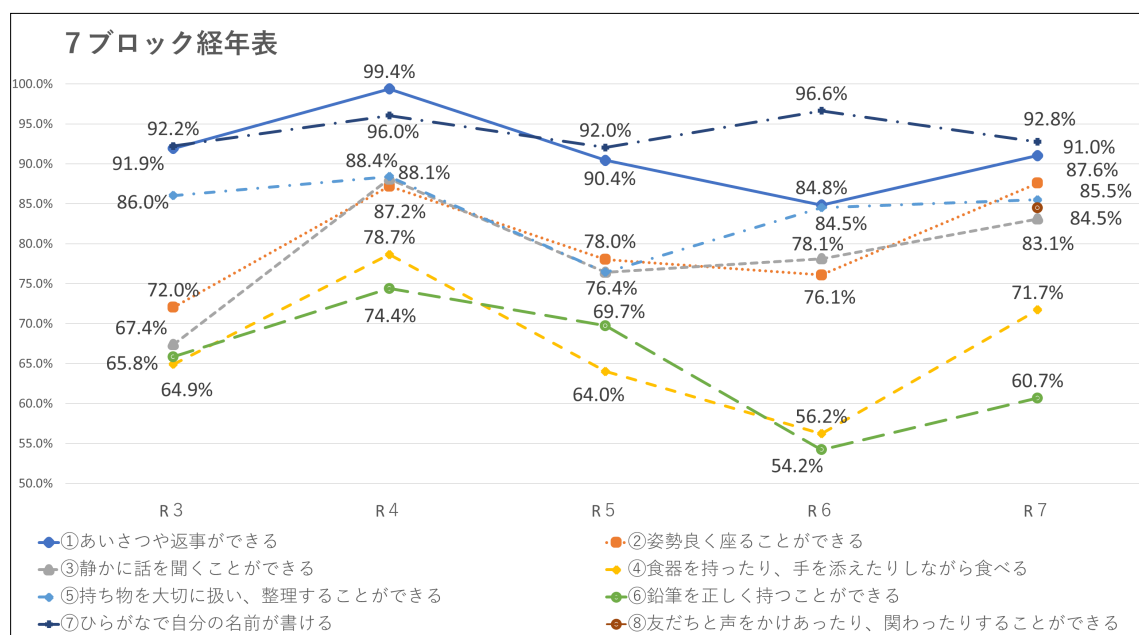
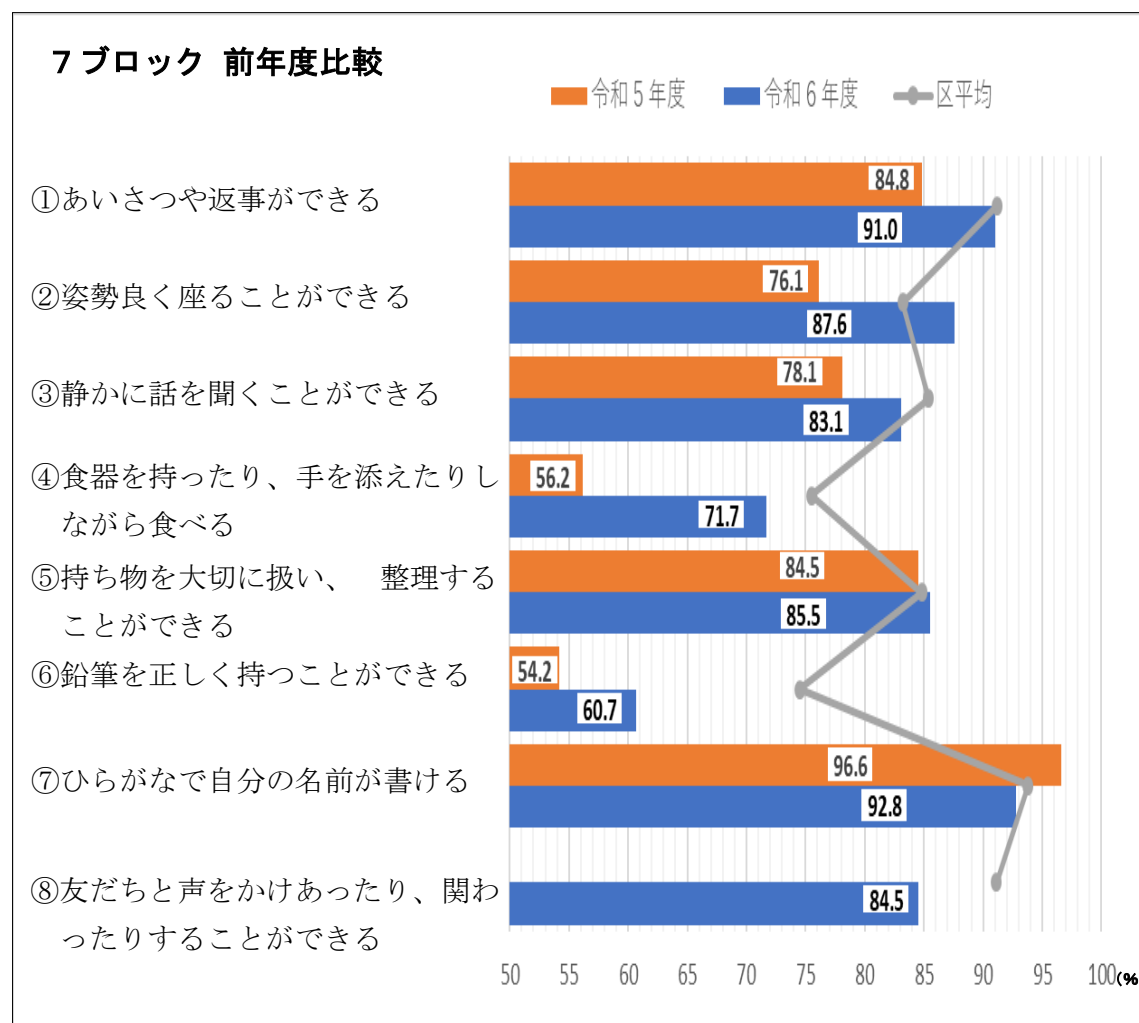
- (ア) 長い廊下や教室など、校舎の広さに興味をもつ。
- (イ) 「早く勉強したい」と楽しみにしている様子だった。



【1年生の教室を見学する様子】

- (ア) 初めて見る授業を真剣な表情で見ている。
- (イ) 「勉強って難しいのかな？」と学校探検で感じたことを言葉にしていた。

(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果（令和6年度実績）



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

6項目で区全体平均より下回っている。特にアンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」は区全体平均よりも、13.8ポイントと大きく下回っている。ブロック会議では、数値が低いアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べることができる」及びアンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート④⑥（食器の持ち方、鉛筆の持ち方） （ア）小学校でも体力がなく疲れやすい子どもや興味のあることしか聞かない子どもがいる実態がある。 （イ）姿勢保持や四肢の発達、集中力や学習意欲の向上につなげるため、体幹が安定する取組が必要であると考える。
取組方針	（ア）日常生活の遊びでゲームや運動を意識して取り入れる。 （イ）「走る」、「止まる」、「跳ぶ」等、様々な動きを経験する。 （ウ）座り始め5分の意識や声かけを行い、体幹の向上を図る。 （エ）就学前施設で使用している鉛筆を小学校でも共有する。

8 第8ブロック

青井・一ツ家・平野地域等の小学校5校及び就学前施設15園で活動している。主な活動として、体験給食（10園実施）や学校探検（8園実施）等をしている。

（1）第8ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
栗島	栗島幼稚園	○	○	○		
	足立梅島雲母保育園		○	○		
加平	あおい幼稚園	○				
	たんぼぼ保育所六町園	○		○	○	○
	たんぼぼ保育所第二六町園	○		○	○	
	六町駅前保育園	○		○	○	
	野のはな保育園	○		○		
東栗原	東栗原保育園	○			○	○
	明日葉保育園保塚園	○			○	○
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ足立さくら園	○				○
平野	足立つくし幼稚園				○	○
	平野保育園	○				○
青井	明日葉保育園青井園			○	○	
	AIAI NURSERY 綾瀬六丁目*					
	青井保育園			○	○	○

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】平野小学校・平野保育園

ア 体験給食【参加人数：15名】

- ① 体験給食中は少し緊張した様子であったが、自分たちでおかわりを食器によそったり、初めてパックで牛乳を飲んだりした。就学後のイメージが湧いてきた様子だった。
- ② 給食後は1年生と塗り絵やかるた取りなどで交流した。次第に緊張もほぐれ、それぞれの遊びを楽しんでいた。
- ③ 園に戻ってからは、「自分たちもトレイを使って配膳したい」「おかわりができて嬉しかった」などの声が挙がった。
- ④ 体験給食を契機に、保育園の給食ではトレイを使って配膳することにした。

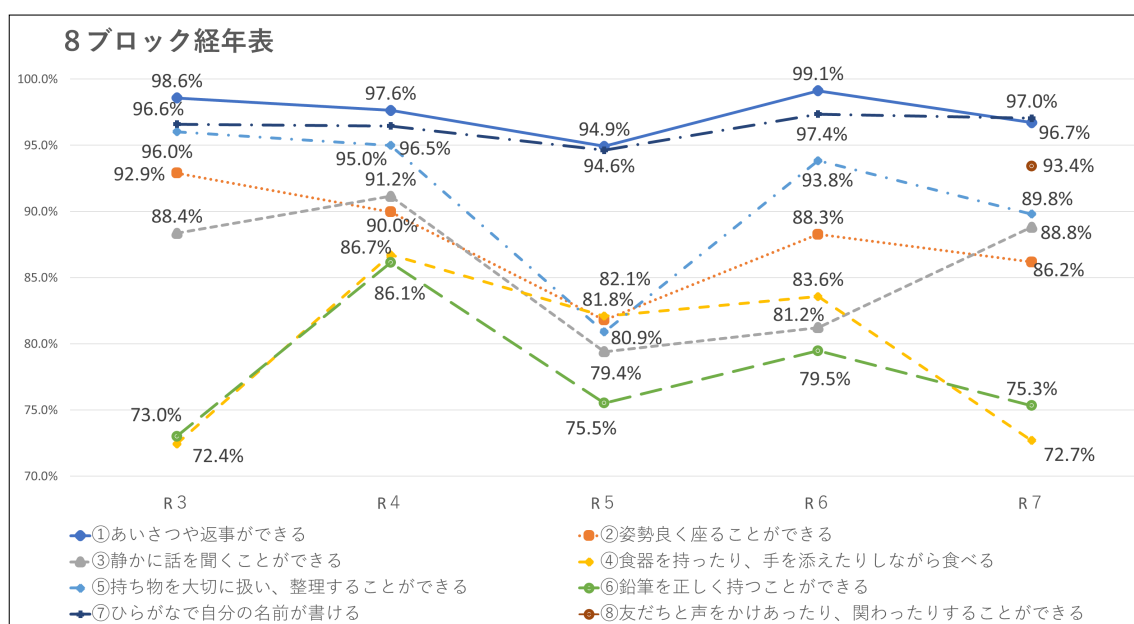
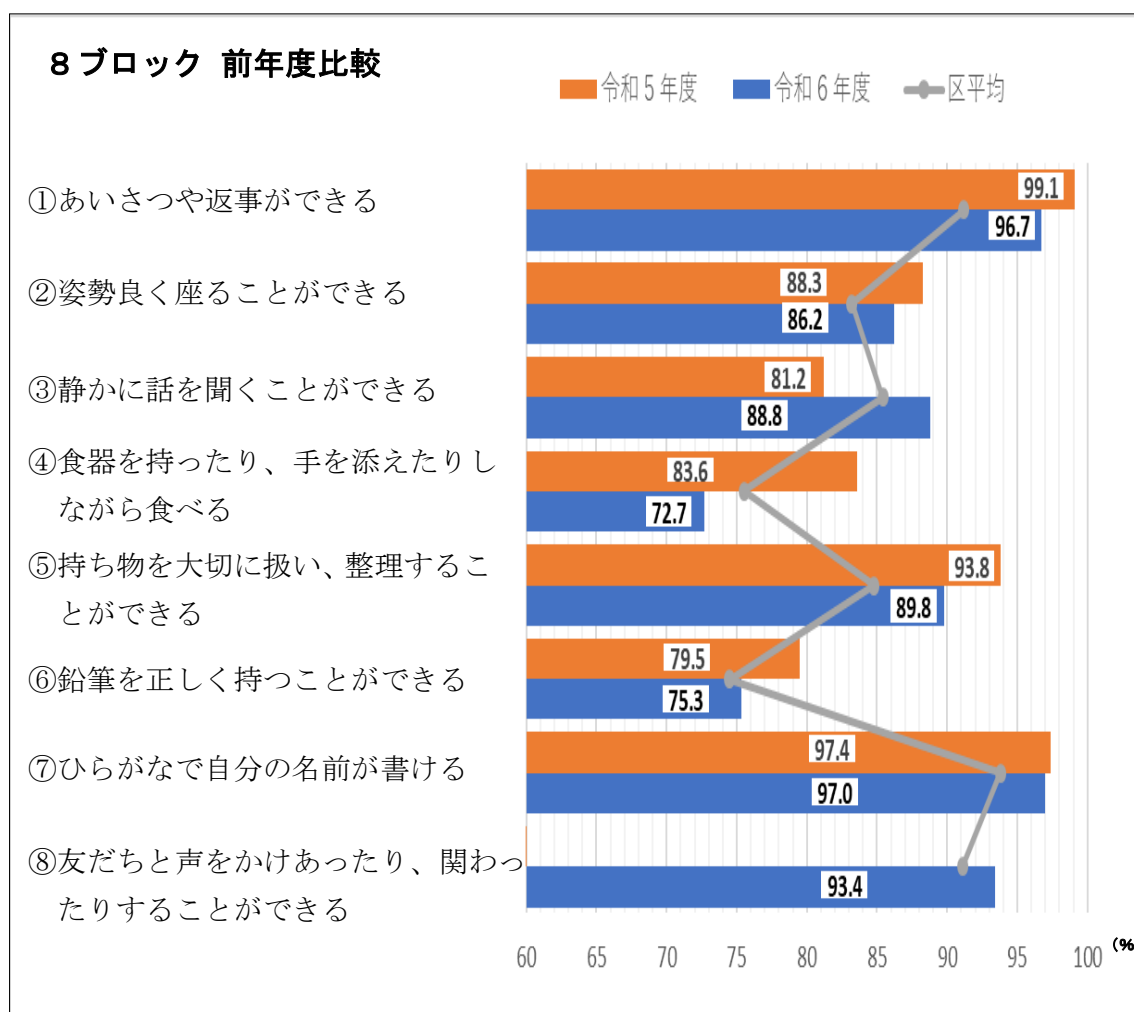


イ 学校探検・1年生との交流【参加人数：15名】

- ① 1年生が学校の一日を紹介し、その後学校を案内した。
- ② 学校への訪問は3回目だったので、少し慣れた様子だった。
- ③ 初めて教室内に入り、座席に一人ずつ座ると嬉しそうにしていた。
- ④ 就学間近の時期に取り組んだことで、子どもたちの就学への期待感が一層深まる体験となった。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果（令和6年度実績）



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

7項目で区全体平均を上回っている。特にアンケート①「あいさつや返事ができる」は区全体平均よりも5.5ポイントと上回っている。一方でアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は、区全体平均を2.8ポイント下回っているため、ブロック会議では、数値が低いアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」を中心に課題を挙げ、取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） (ア) 45分間、着座していることが難しい。
取組方針	(ア) 偏食、着座の姿勢保持について保護者に啓発を行う。 (イ) 公開保育や学校公開などで、小学校と就学前施設で子どもたちのギャップとなる要素を共有する。
課題	アンケート④⑥（食器の持ち方、鉛筆の持ち方） (ア) 食具や鉛筆は間違った持ち方に癖がつくと正しい持ち方に直すことが難しくなる。 (イ) 小学校と就学前施設での教育・保育にギャップがある（給食時の食材のサイズ、食具の種類）。 (ウ) 文字を追って読む力が弱い。
取組方針	(ア) 全身運動、手指を使った遊びを取り入れ、体づくりを行っていく。 (イ) 活動時に鉛筆を持つ姿をよく見取り、正しい持ち方を伝えていく。 (ウ) 手紙ごっこなど、興味のある活動を取り入れて、鉛筆を持つ機会をつくる。 (エ) 全身運動、手指を使った遊びを取り入れ、体づくりを行っていく。 (オ) 読書活動や言葉遊びなどを通して「言語」を増やし、「語彙力」につなげる。

9 第9ブロック

花畑・南花畑地域の小学校5校及び就学前施設10園で活動している。主な活動として、体験給食（5園実施）や交流活動（8園実施）等を実施している。

（1）第9ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
花畑	六町あずま保育園	○			○	○
花畑 第一	東花畑保育園	○		○	○	○
花畑西	杉の子幼稚園	○			○	
桜花	花畑桑袋保育園	○			○	○
	レイモンド花畑保育園	○			○	○
花保	石鍋幼稚園*					
	南保木間保育園				○	○
	愛隣保育園				○	
	六町保育園				○	
	東保木間保育園			○		

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】花保小学校・六町保育園

ア 1年生との遊びの交流 【参加人数：28名】

- ① 2月に1年生が計画した「花保っこらんど」に参加し、各教室で魚釣りやペットボトルのボーリング、輪投げなどのゲーム遊びを楽しんだ。

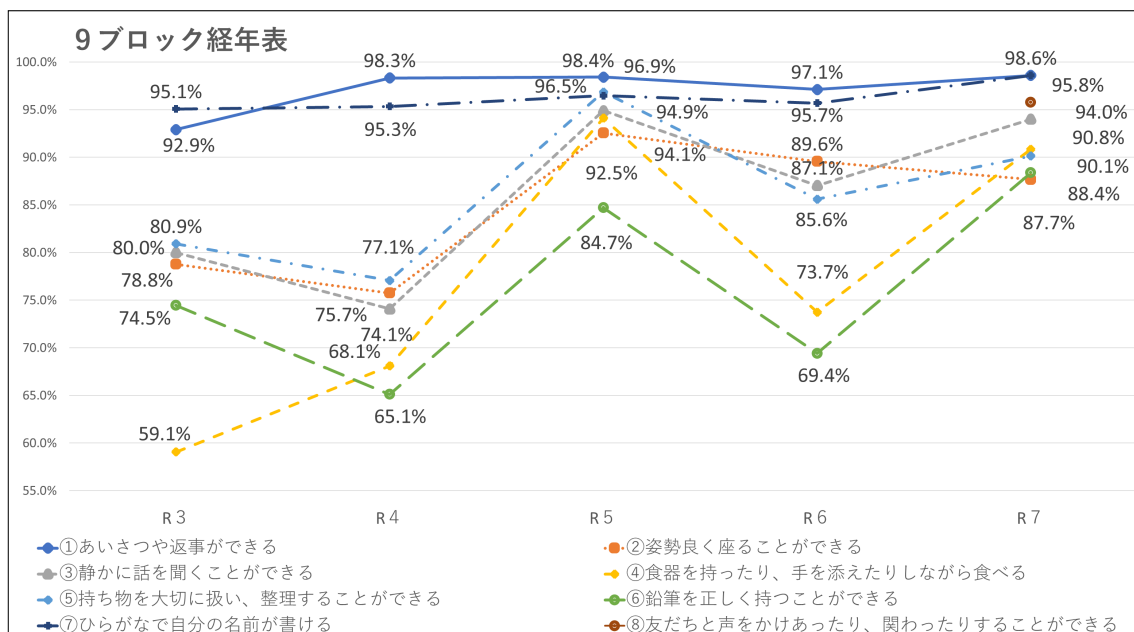
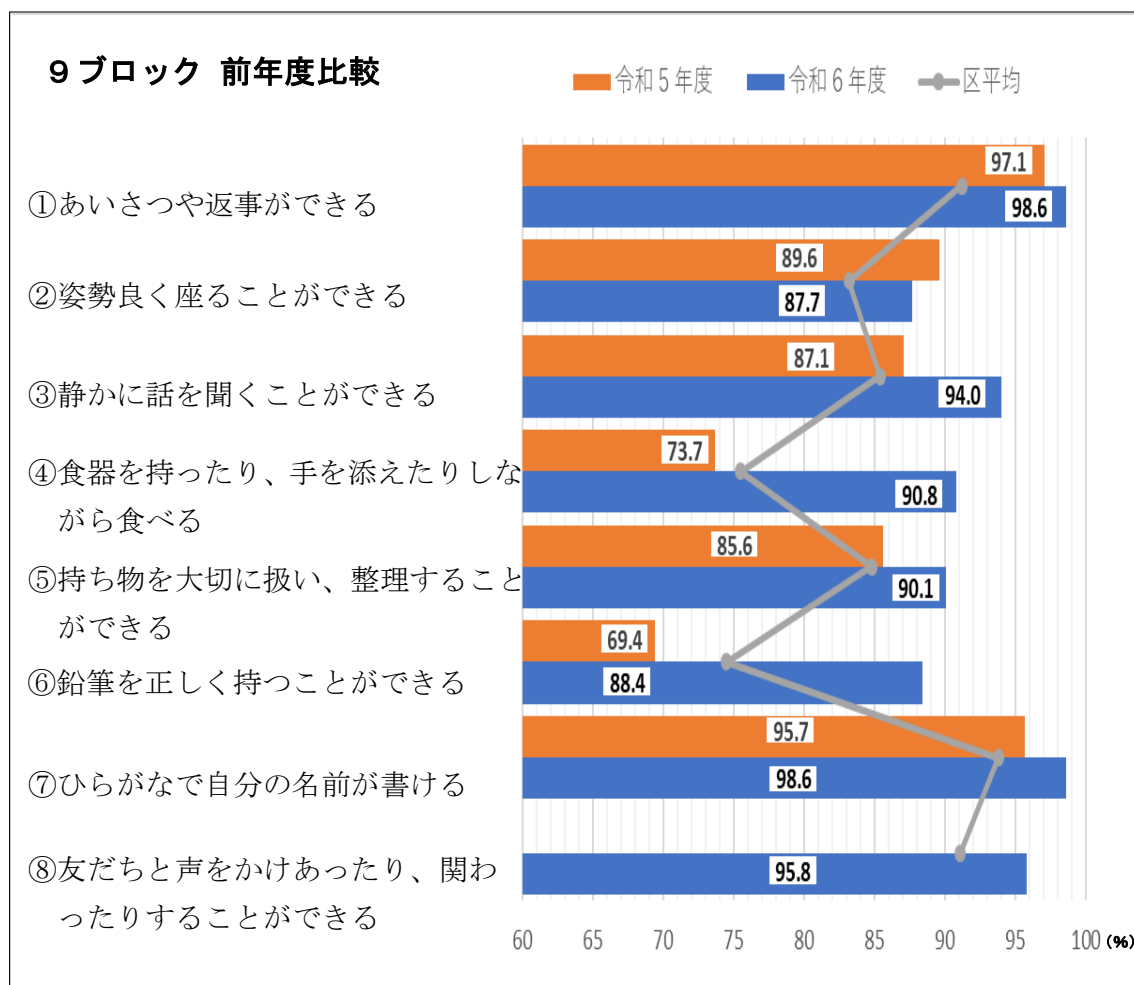


- ② 1年生がそれぞれのコーナーで役割を担当し、遊び方やルールを分かりやすく説明したことで、子どもたちもやってみようという気持ちで遊び始めることができた。



- ③ くじ引きでは、1年生が園児に、「はずれが出ても、何回もやって大丈夫だよ」「景品はふたつももらえるよ」と優しく声をかけるなど、思いやりの気持ちをもって接する姿が見られた。
- ④ 始めは緊張していた園児も次第に表情がほぐれ、意欲的に遊ぶ姿が見られるようになった。
- ⑤ 教室を回り、ひらがなで書かれた掲示物を見つけると、興味を持ち、知っている字を読む園児もいた。
- ⑥ 1年生の教室を見たことで、4月から自分たちが過ごす場所を身近に感じ、就学への期待が膨らんだ。

(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



（４）１年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

全ての項目で区全体平均を上回っている。アンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は区全体平均よりも、15.3ポイント大きく上回っている。ブロック会議では、小学校の授業時の姿勢保持や静かに話を聞くことの難しさを課題として捉え、取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）姿勢保持の難しさが課題である。 （イ）足腰を使った活動や運動遊びに積極的に取り組み、運動面から体幹を育てる必要がある。
取組方針	（ア）背もたれのない椅子の使用や姿勢に気付ける声かけをする。 （イ）全身を使った運動や遊びを通して、十分に体を動かす体験を積み重ねる。
課題	アンケート③（静かに話を聞く） （ア）相手の話を最後まで聞かず、憶測で行動する姿がある。
取組方針	（ア）相手の話を最後まで聞き、内容を理解して行動することを目標にする。 （イ）質問は話が終わってから手を挙げて聞くことを習慣づけていく。 （ウ）相手の話に興味をもち、注意して聞くことを積み重ねていくようにする。
課題	アンケート④⑥（食器の持ち方、鉛筆の持ち方） （ア）鉛筆の持ち方に課題が見られる。 （イ）癖がつき、自己流の持ち方で書いている姿がある。 （ウ）食器に手を添えることができない子どもや正しい箸の持ち方が身についていない子どもがいる。
取組方針	（ア）就学前施設では、手先を使った活動や遊びで巧緻性（器用さ）を高める。 （イ）就学前施設及び小学校で橋や鉛筆の正しい持ち方が身に付くよう個別で丁寧に援助していく。

10 第10ブロック

竹の塚・西保木間・保木間地域等の小学校6校及び就学前施設13園で活動している。主な活動として、学校探検（9園実施）や交流活動（11園実施）等を実施している。

(1) 第10ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
中島根	中島根保育園	○		○		○
浏江	竹塚幼稚園	○		○	○	○
	竹の塚北保育園	○		○	○	○
浏江 第一	小倉幼稚園				○	
	保木間保育園			○	○	○
	北保木間保育園	○		○	○	○
	まなびの森保育園竹ノ塚*					
西保 木間	西保木間保育園	○		○	○	○
	水神橋保育園	○		○	○	○
保木間	竹の塚保育園			○	○	
竹の塚	ふちえ幼稚園	○			○	
	浏江保育園	○		○	○	
	保育園ミルキーウェイ竹の塚	○			○	

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】西保木間小学校・西保木間保育園

ア 体験給食【参加人数：19名】

- ① 5年生と一緒に体験給食を実施。
- ② マナー良く静かに姿を待つ5年生の姿を園児たちは自然に真似ていた。
- ③ 初めての学校給食に緊張しながらも、上級生の優しい声かけや見本に安心して食事を進めていた。
- ④ 最後には「全部食べられた！」と笑顔で喜ぶ姿があり、就学への期待が膨らむ良い経験となった。

【参加園】水神橋保育園・竹の塚北保育園・西保木間保育園

ア ゲーム遊び【参加人数：56名】

- ① 自己紹介で、名前や好きな食べ物、就学予定の小学校などを話す。
- ② 好きな食べ物や就学先が同じとわかると親近感がわき、相手の名前を覚えようとする姿が見られた。その後、じゃんけん列車や猛獣狩りなどのゲームで交流する。
- ③ 初めての顔合わせに緊張した姿があったが、ゲームの中で徐々に言葉を交わし、楽しむ姿が見られた。

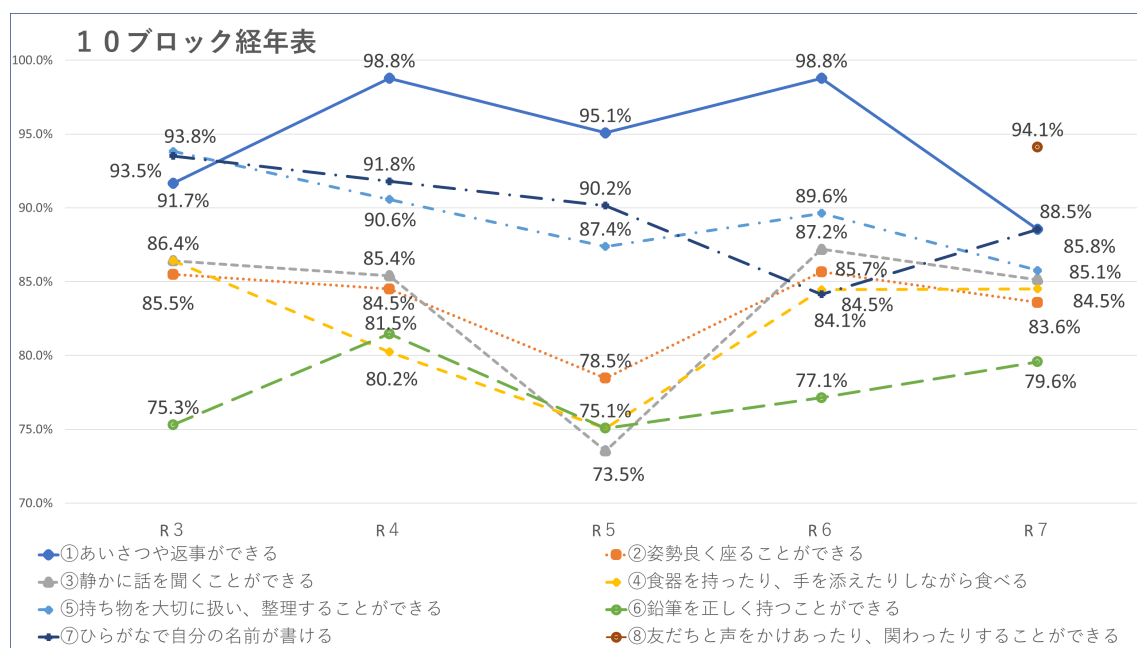
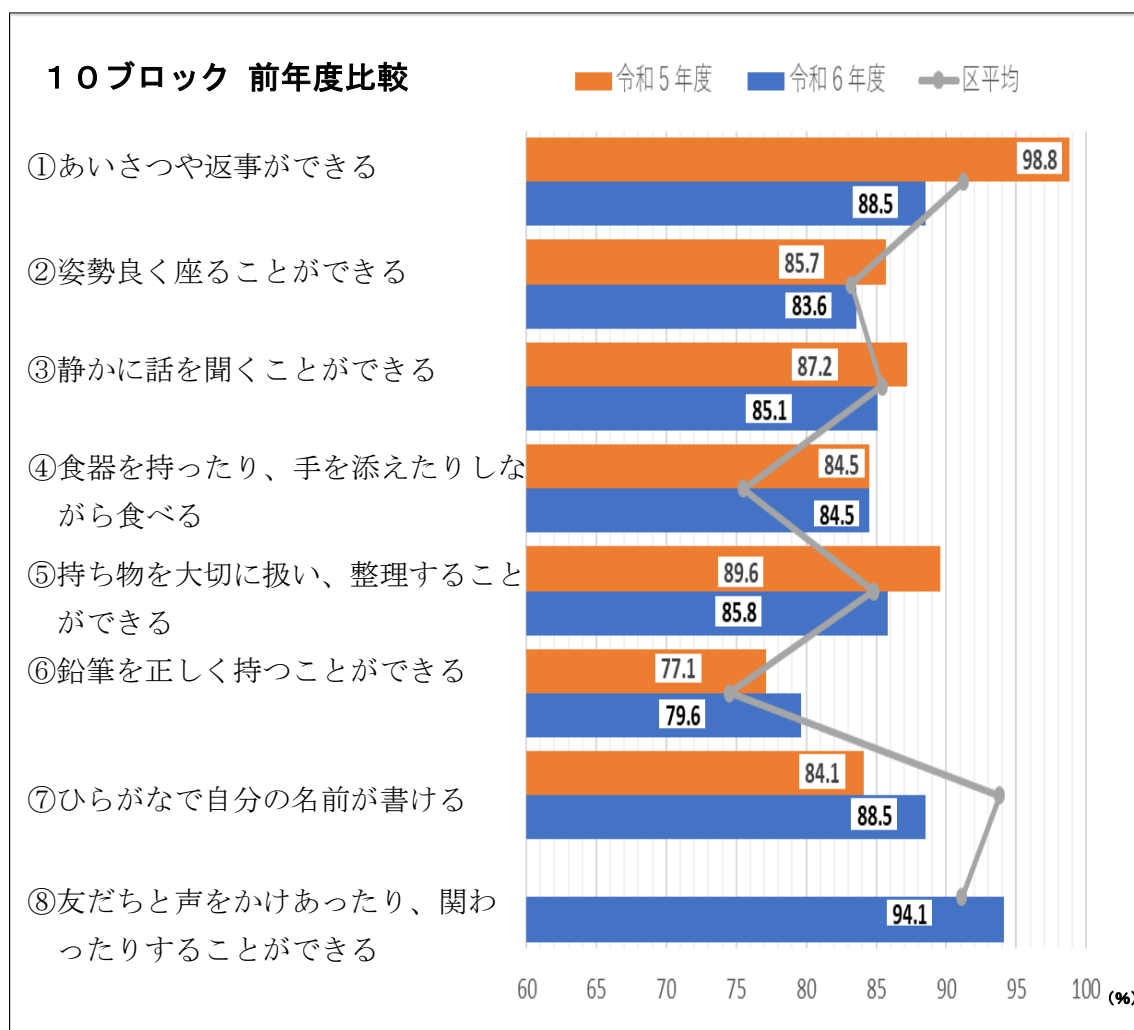


イ ドッジボール大会【参加人数：59名】

- ① 複数の交流活動で、他園の友だちに会うことを楽しみにしていた。
- ② 各園「絶対に勝ちたい」「ボールをすぐに投げる」と作戦を立てるなど、保育園対抗で試合をすることに期待をもつ姿が見られた。
- ③ 試合終了後には「学校でまた会おうね」と言葉を交わすなど、就学に対しての安心感に繋がった。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



（４）１年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

５項目で区全体平均を上回っている。アンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は区全体平均より９ポイント上回った。一方でアンケート③「静かに話を聞くことができる」が区全体平均を下回ったことから、ブロック会議では、アンケート③「静かに話を聞くことができる」を中心に課題として捉え、取組方針を検討した。

課題	アンケート②③（姿勢良く座る、静かに話を聞く） （ア）姿勢保持の難しさがある子どもは、食べこぼしたり、授業の集中時間が短い傾向にある。 （イ）食器を持ったり、手を添えたりする意識が持ちづらいことにもつながっている。
取組方針	【小学校】 （ア）座学のみにならないように授業の時間配分を行う。 （イ）適切な声かけ（「グー・ペタ・ピン」などの短い言葉）をしながら、姿勢に気づかせる工夫をする。 【就学前施設】 （ア）サークルタイムを活用し、一定時間座って自分の思いを話したり、他者の話を聞いたりする時間を意図的に設けていく。 （イ）子どもが集中しやすいように途中で体を動かしたり、ゲームを取り入れたりしていく。 （ウ）姿勢保持について、体幹やバランス感覚を育てる遊びを取り入れる。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方） （ア）言葉がけで正しく持てる子もいるが、持続時間は短い。 （イ）おたよりの角を揃えて折ることが難しい姿があり、手先の不器用な姿が見られる。
取組方針	【小学校】 （ア）鉛筆の正しい持ち方を掲示する。 （イ）折り紙やハサミなど、指先を使う活動を意図的に取り入れる。 （ウ）保護者に向けて就学時に身につけておいてほしい能力や資質を啓発する。 【就学前施設】 （ア）遊びのなかで発達に合った筆具を用意し、正しい持ち方を知らせる。 （イ）主体的な活動（遊びや人数当番等）を通して、自分の名前や数字を書く経験を積み重ねる。 （ウ）粗大運動から微細運動につながることを踏まえ、身体の発達過程に合わせた遊びの環境を整えていく。

11 第11ブロック

伊興・栗原・東伊興地域等の小学校5校と就学前施設15園で活動している。主な活動として、交流活動（10園で実施）や学校探検（9園実施）を実施している。

(1) 第11ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
西新井第二	西新井保育園			○	○	○
	i-保育園	○		○	○	○
	清水保育園	○			○	○
	アスク西新井保育園				○	
西伊興	佐藤幼稚園*					
	ういず西新井保育園				○	
栗原北	はなぞの幼稚園		○	○		
	くりはら愛育保育園		○	○		
	伊興大境保育園	○	○	○		
	たんぽぽ保育所竹の塚園		○	○		
伊興	福寿院幼稚園	○			○	
	伊興保育園	○		○	○	○
東伊興	本行寺第二伊興幼稚園			○	○	
	伊興すみれ保育園	○	○		○	
	ソラストたけのつか保育園		○	○	○	○

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】伊興小学校・福寿院幼稚園

ア 交流会・体験給食【参加人数：31名】

- ① 小学校ではどんなことをするのかを紹介してもらった（教科書の音読、ランドセルを背負う、Chromebook を見るなど）。
- ② 1年生が張り切って園児を迎え、園児は学校の様子が分かり、安心したようだった。
- ③ 1年生の給食の配膳の様子を見学してから、別室で体験給食をした。
- ④ 園児はトレイを持って給食を運んだこと、希望で量を調整できたこと、おいしい給食を食べたこと、牛乳パックの扱い方など、全てが新鮮で楽しく、小学校への期待が高まった。



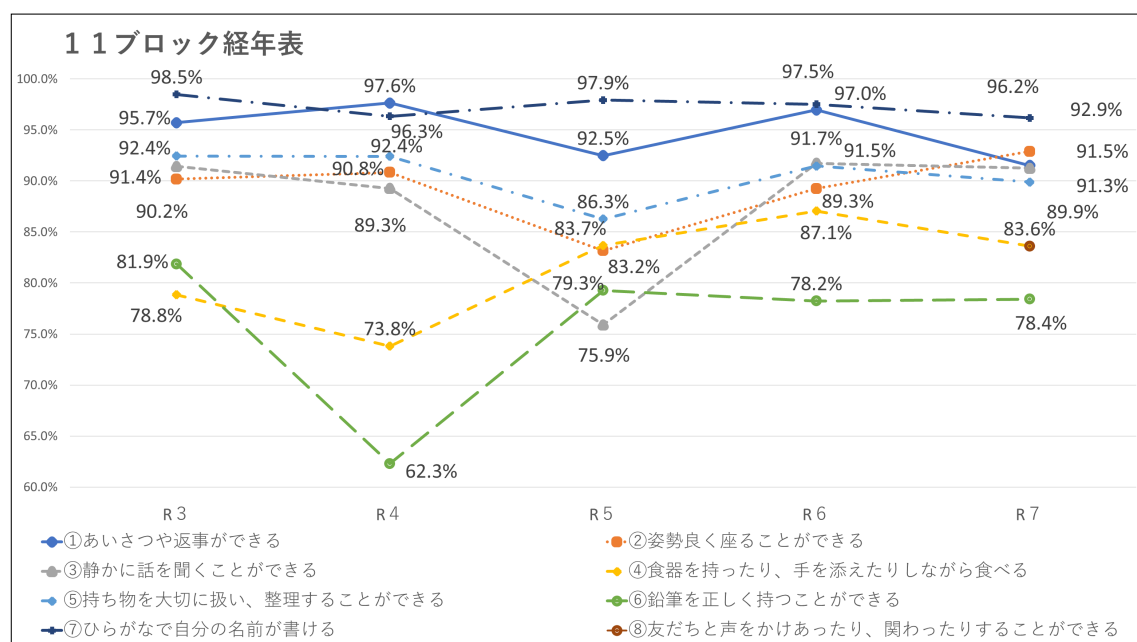
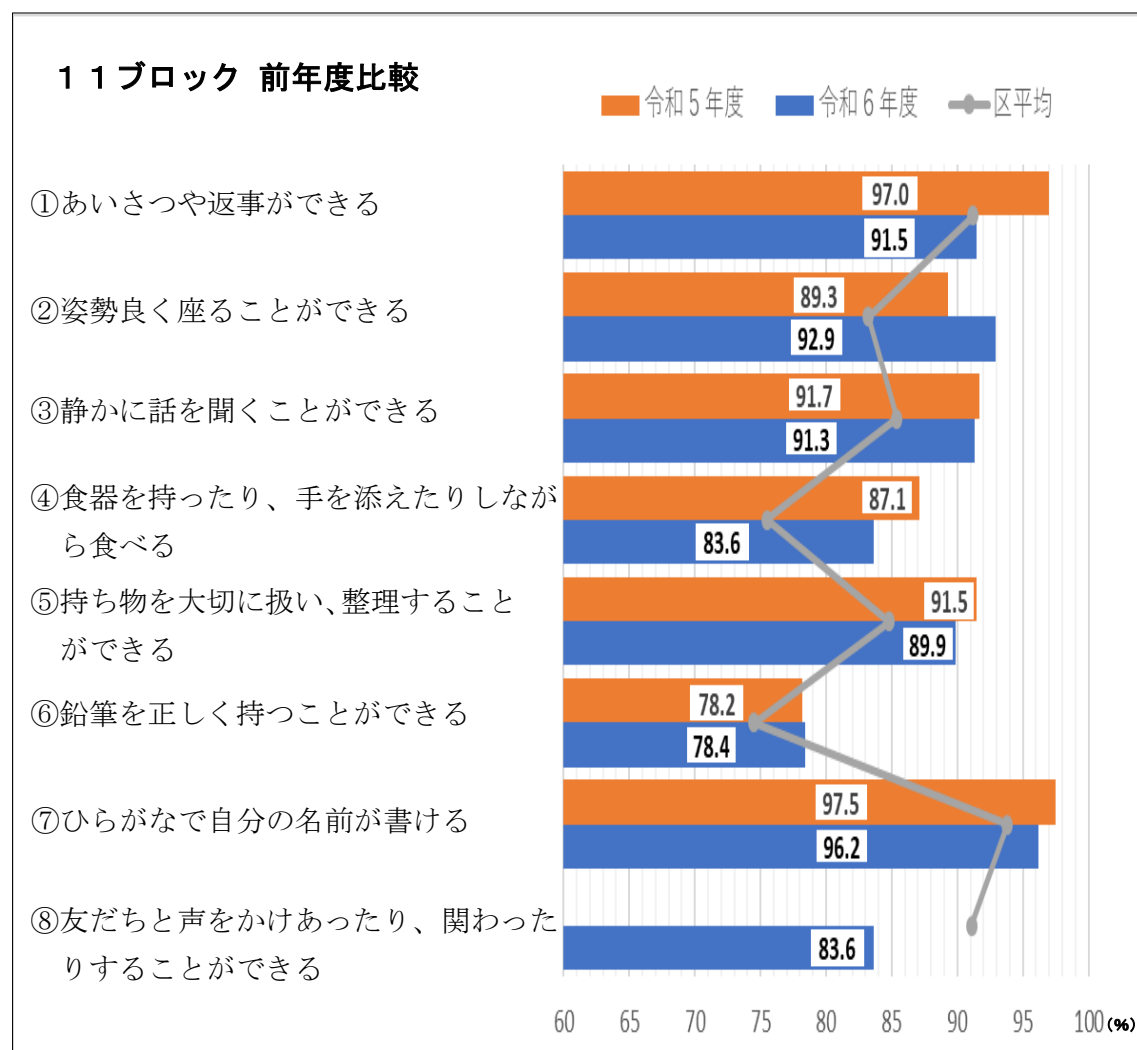
【参加校・園】伊興小学校・伊興保育園

イ 1年生体験・体験給食【参加人数：26名】

- ① 園児が「どうやって学校に行くのですか」という疑問に、1年生は分かりやすく答えてくれた。
- ② 「どうして勉強をするのですか」という難しい園児の質問にも、「大きくなって社会に出たときに、自分が困らないようにしたいからです」と自分の考えを話す1年生の姿もあった。
- ③ 体験給食では1年生に手伝ってもらい、トレイを使って配膳をした。
- ④ 園でトレイを用意すると、張り切って食事の準備をしていた。園児は小学校が特別な場所から身近な場所変わったようだ。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果(令和6年度実績)



(4) 1 年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

7 項目で区全体平均を上回っている。特にアンケート②「姿勢良く座ることができる」は区全体平均よりも 9.7 ポイント上回っている。ブロック会議では、特に数値が低かったアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」とアンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」を課題として捉え、取組方針を検討した。

課題	アンケート④（食器の持ち方） （ア）就学前施設ではプレート使用のため、手を添える機会が少ない。 （イ）皿に指をひっかけ持つ子もいる。 （ウ）お皿をきれいに残さず、食べるのが難しい。
取組方針	（ア）おはしを使ったゲームなど生活習慣を取り入れた遊びをする。 （イ）きれいに食べる意識をもたせる工夫をする。 （ウ）児童と園児が一緒に喫食する体験給食の機会意識の醸成を図る。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方）
取組方針	（ア）ひらがな指導の前に持ち方を伝える。 （イ）子どもが興味をもっているときに個別に伝えていく。 （ウ）癖がついてしまう前に、体験的に正しい持ち方に取り組めるようにする。

12 第12ブロック

皿沼・鹿浜・新田地域等の小学校5校及び就学前施設15園で活動している。主な活動として、学校探検（13園）や体験給食（11園）等を実施している。

(1) 第12ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
鹿浜 第一	足立このみ保育園	○		○		○
	SAKURA 保育園谷在家	○		○	○	
	谷在家保育園	○	○	○	○	○
鹿浜 未来	鹿浜愛育幼稚園			○		
	鹿浜こども園			○	○	○
	太陽保育園			○	○	○
鹿浜五 色桜	江北白百合幼稚園				○	
	第三上沼田保育園	○		○	○	○
皿沼	加賀保育園	○			○	
新田 学園	新田わかば保育園	○		○		○
	新田保育園	○		○		○
	まなびの森 ココロット保育園	○		○		○
	まなびの森 ヴィラ・ココロット保育園	○		○		○
	新田さくら保育園	○		○		○
	新田おひさま保育園	○		○		○

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

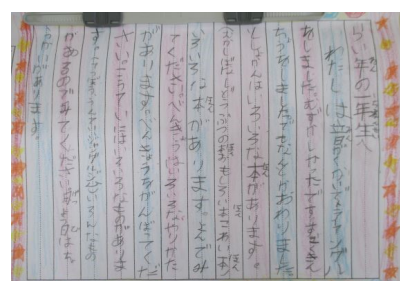
【参加校・園】 鹿浜未来小学校・太陽保育園・鹿浜こども園

ア 学校探検【参加人数：41名】

- ① 学校内を自由に見学する。園児は体育館やプールの広さ、廊下の長さに「学校って、広いね!」「大きいね!」とワクワクしていた。
- ② 保健室見学の際、「体調が優れないときや怪我をしたときは保健室に来てね」と養護教諭から聞き、園児は安心した様子であった。
- ③ 園児は小学生の授業を見たことで、子どもたちの就学へのイメージが膨らんだ。



【学校探検後 1年生から手紙】



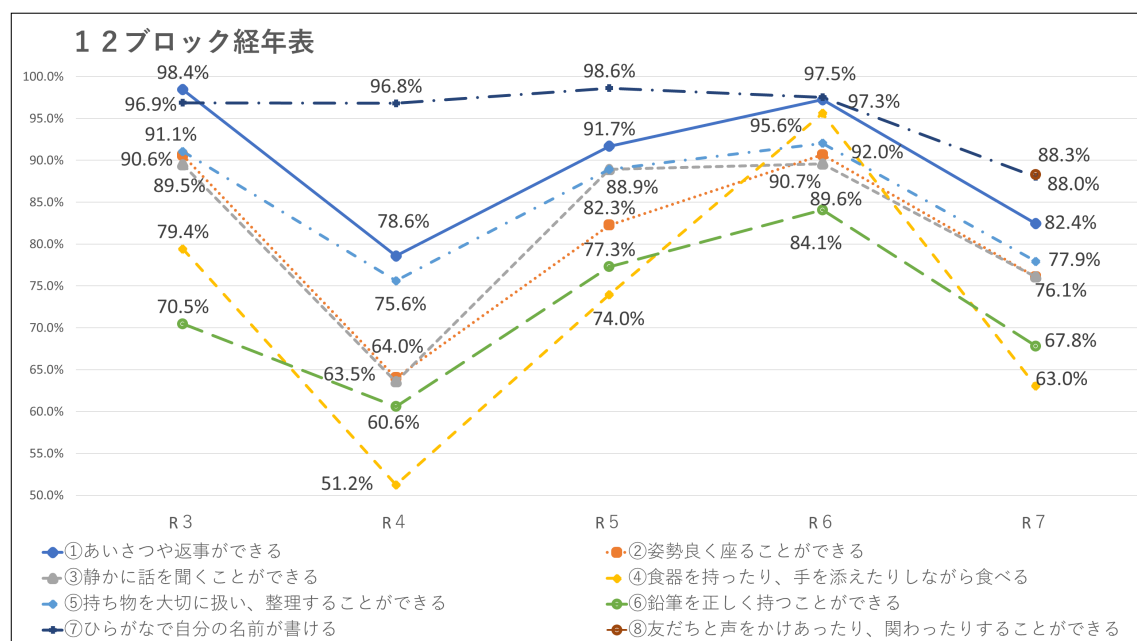
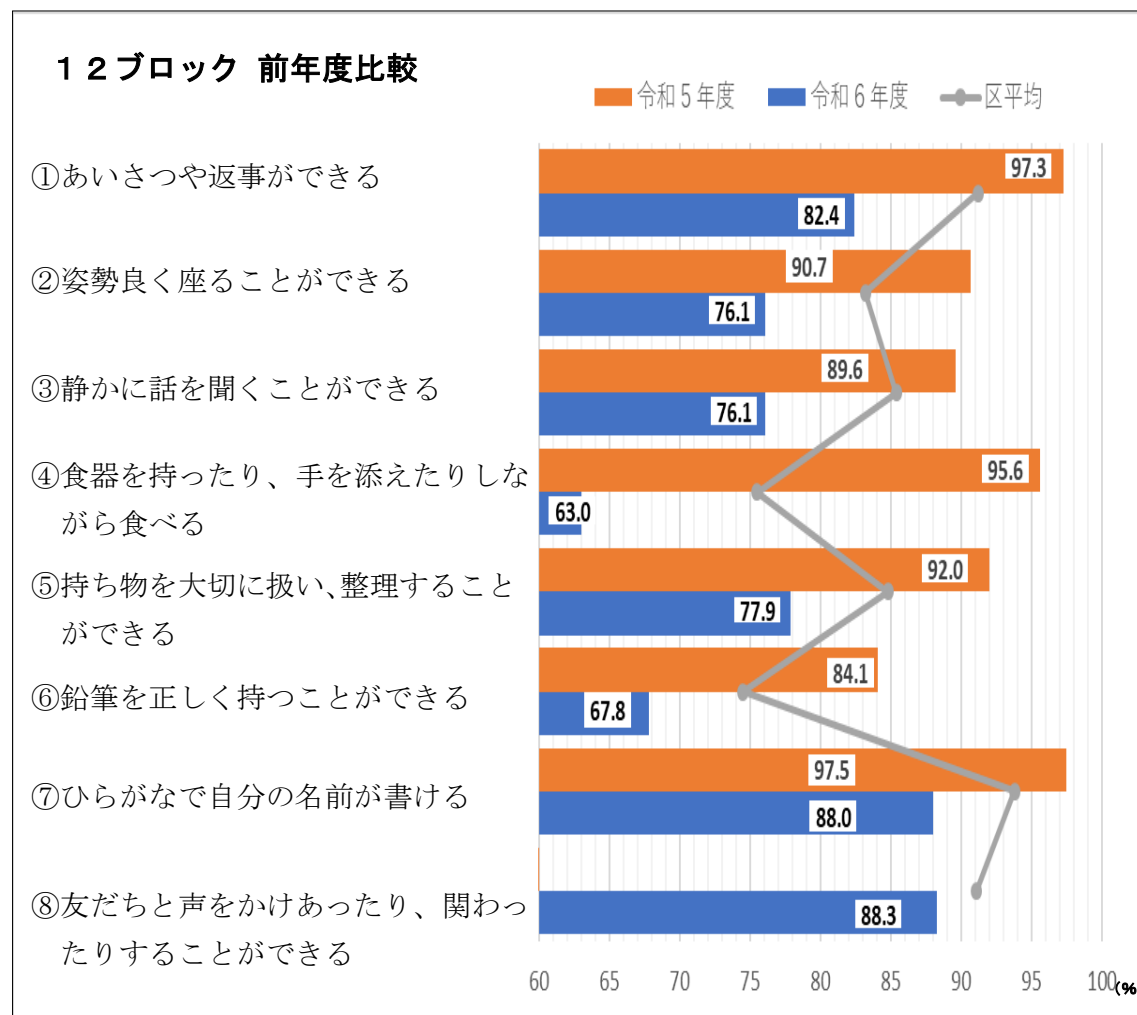
手紙をもらった園児たちは就学への期待が高まっていた。

イ 校庭遊び【参加人数：41名】

- ① 学校探検と同じ日に実施した。鹿浜未来小学校は20分休みに全校生で「3分間運動」を実施しており、園児も一緒に参加して、トラックの内側を走った。
- ② 憧れの小学生と一緒に広い校庭を走ることができ、笑顔がこぼれていた。
- ③ 太陽保育園と鹿浜こども園の子どもたちで話し合い、トラックの直線コースを走ったり、鬼ごっこをしたりして交流した。
- ④ 広い校庭で他園の園児と一緒に遊べたことは、楽しかったようだ。



(3) 小学校第1学年に関するアンケートブロック別結果（令和6年度実績）



（４）１年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

全ての項目で区全体平均を下回っている。特にアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」が区全体平均よりも12.5ポイント大きく下回っている。ブロック会議では、アンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」に加え、アンケート①「あいさつや返事ができる」及びアンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」も課題として捉え、取組方針を検討した。

課題	アンケート①（あいさつや返事） （ア）保護者があいさつをしないと、子どももできない傾向がみられる。
取組方針	（ア）大人が見本を見せる。立ち止まって、目を見てあいさつする指導を園、学校の両方で行う。 （イ）あいさつの意味を教え、気持ちよさに気づかせる。 （ウ）保護者への啓発を行う。
課題	アンケート④（食器の持ち方） （ア）箸の持ち方について、癖がついてしまうと正しい持ち方に直すのが難しい
取組方針	（ア）箸の持ち方について、「豆つかみ検定」等の遊びの要素を取り入れる。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方） （ア）子どもの持ち方を見ていないことや大人も正しく持てていないことにも課題がある。
取組方針	（ア）園では丸いクレヨン、細長いクレヨン、三角鉛筆、鉛筆の順で指導していく。

13 第13ブロック

入谷・舎人・古千谷本町地域の小学校4校と就学前施設9園で活動している。主な活動として、交流活動（全園で実施）や体験給食（8園で実施）を実施している。

（1）第13ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
舎人	足立みどり幼稚園	○			○	
	聖保育園	○			○	○
	アスクとねり保育園	○		○	○	
	アスク舎人駅前保育園	○		○	○	
	てのひらこども園			○	○	
舎人第一	とねり伊藤幼稚園	○			○	○
	いりや第二保育園	○		○	○	○
足立入谷	いりや第一保育園	○		○	○	○
古千谷	足立つばめ幼稚園	○		○	○	

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

(2) 主な取組事例

【参加校・園】舎人第一小学校・いりや第二保育園

ア 体験給食【参加人数：10名】

- ① 園児は予定表を見ながら、体験給食を楽しみにしていた。学校に向かう途中でも「楽しみ！」とウキウキしていた。
- ② 学校に着くと、1年生がランチルームに案内してくれた。
- ③ 配膳の仕方や牛乳の飲み方などを教えてもらおうと、緊張した表情だった。
- ④ 配膳方法を1年生に優しく教えてもらい、「楽しかった！」「また行きたい！」と話す子どもたちがほとんどであった。
- ⑤ 貴重な学校生活を体験することができた。
- ⑥ 活動後、園児は、優しくしてもらったことが嬉しくて、「がっこうがたのしみになりました」とお礼の手紙を届けた。
- ⑦ 手紙を受け取った1年生は、小学校での交流「よろしく・ようこそその会」考え、園児を招待してくれた。

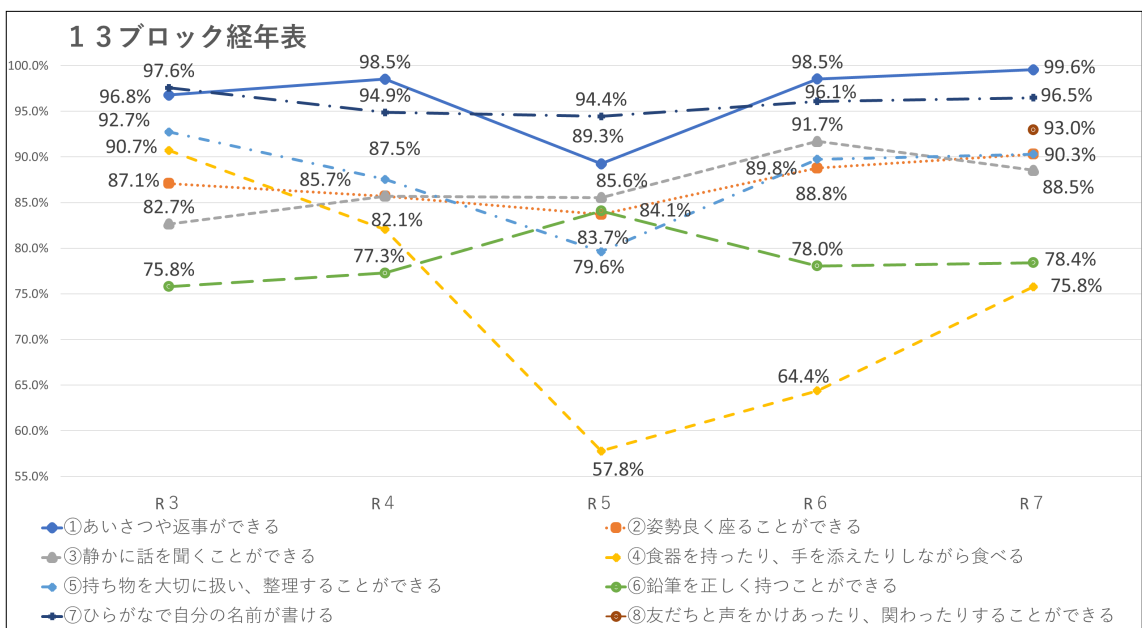
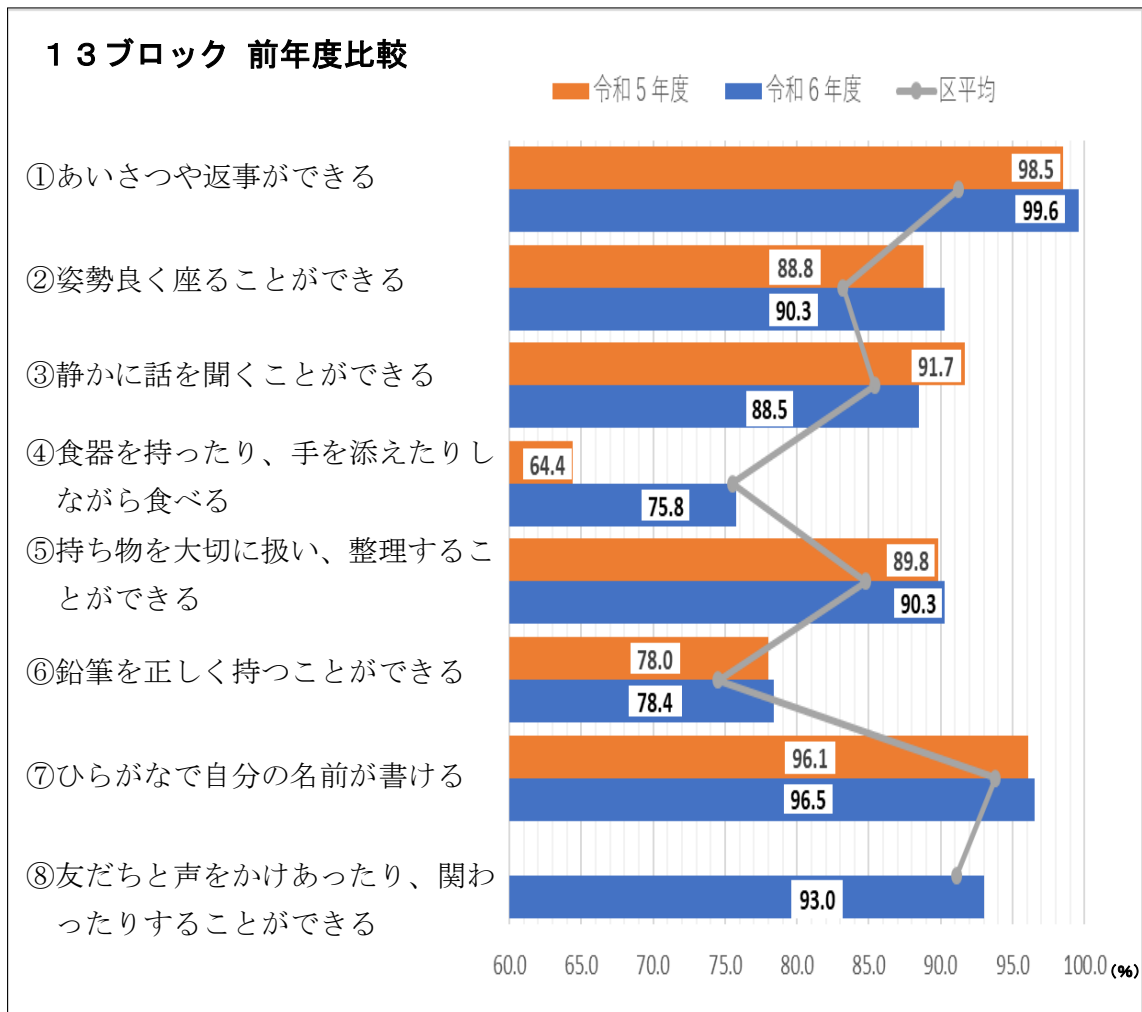


イ 「よろしく・ようこそその会」【参加人数：9名】

- ① 教室で自己紹介を行い、学校生活について聞きたかったことを教えてもらったり、授業を体験したりした。
- ② これから1年生になる園児が安心して、楽しみに小学校へ来られるように、1年生は様々な工夫していた。
- ③ 園児は1年生から優しく教えてもらったり、一緒に遊んだりしたので、ワクワクした楽しい体験となった。
- ④ 園児は「もっと一緒に遊びたかった！」と、小学校に行くことへの期待が高まったようだ。



(3) 小学校第 1 学年に関するアンケートブロック別結果 (令和 6 年度実績)



(4) 1年生アンケートの結果を受けた課題および取組方針

全ての項目で区全体平均を上回っている。特にアンケート①「あいさつや返事ができる」は、区全体平均よりも8.4ポイント上回っている。ブロック会議では、数値が低い項目だけでなく、多くのアンケート項目が更に上昇できるよう、取組方針を検討した。

課題	アンケート①（あいさつや返事） （ア）挨拶に関する取組を継続実施しているため、数値が結果となった。
取組方針	（ア）大人が、模範を見せる。 （イ）年長児が挨拶をすることで年少児に良い影響を波及させていく。
課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）姿勢良く座ることが難しい子がいる。 （イ）姿勢に加え、整理整頓について課題がある。
取組方針	（ア）椅子の背に背中をくっつける意識をする。 （イ）体幹を鍛えるトレーニングを行ったり、椅子に滑り止めを利用したりする。
課題	アンケート③（静かに話を聞く） （ア）最後まで話を聞けない子どもがいる。
取組方針	（ア）目標時間を決める。 （イ）「ぐー・ぺた・ぴん」の声かけをして、姿勢を正しくする。 （ウ）体幹トレーニングを保育の中に取り入れる。 （エ）話を聞くことの大切さを伝えていく。 （オ）内容をしっかり理解させる聞き方を指導していく。
課題	アンケート④（食器の持ち方） （ア）食器を持つ習慣があまりない子どもがいる。 （イ）食べる姿勢が崩れる児童がいる。 （ウ）年長児から箸を使い始めるが、お弁当なので食器を持つ習慣があまりない。
取組方針	（ア）食事中、肘をつかない、横を向かない、食器に手を添える等の声かけを行う。 （イ）家庭の意識を高めていくため、保護者へ啓発する。 （ウ）給食参観を年1回実施して、保育園家庭へ食育活動を広めていく。 （エ）三角食べをしようと声かけする。

課題	アンケート⑥⑦（鉛筆の持ち方・ひらがなで名前を書く） （ア）鉛筆は持てているがひらがなで名前を書くことが難しい。 （イ）字を書き進めると、正しい鉛筆の持ち方が乱れていく。
取組方針	（ア）名前カードを見ながら書く。 （イ）鉛筆の持ち方はその都度繰り返し指導していく。 （ウ）字を書くときは「ぐー・ぺた・ぴん」の声かけをして、姿勢を正しくさせる。 （エ）家庭内にも働きかけ、持ち方やひらがなの書き方を啓発していく。

Ⅲ 接続期教育研修 実績内容

1 目的

就学前教育・保育施設と小学校の連携や、子どもたちの円滑な接続を図るために必要な知見を含め、園・校において必要な指導・支援の力を高める。

2 第1回研修の内容

(1) テーマ

「やってみたい！が生まれる保育・教育をつなぐ」

～主体的な学びを保障する幼保小接続のあり方を探る～

(2) 講師

國學院大學 人間開発学部子ども支援学科 教授 吉永 安里 氏

(3) 内容

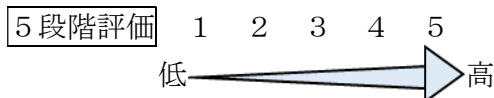
ア 「やってみたい」から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成について

イ 「各教科等における学びのつながり」について（授業展開例）

ウ 「2030年に向けた生徒エージェンシー」について

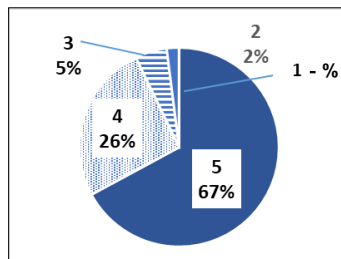
エ 「スタカリ期に大切にしたいこと」について（授業展開例）

(4) 受講者評価

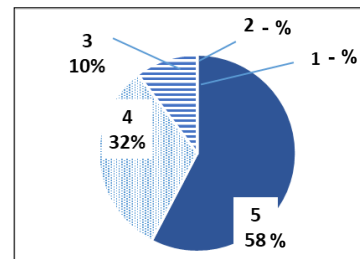


ア 小学校関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】

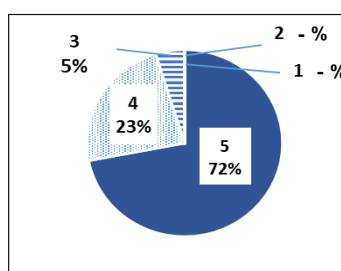


【指導や連携活動活用できるものであった】

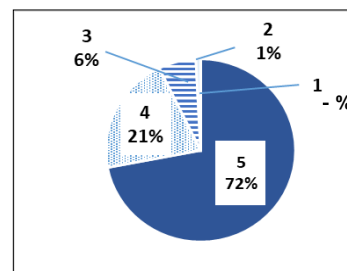


イ 幼児教育関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】



【指導や連携活動活用できるものであった】



3 第2回研修の内容

(1) テーマ

「幼児教育と小学校教育をつなぐ幼保小連携の在り方」
～「やってみたい」から始まる学びの芽 実践事例から考える～

(2) 実践事例発表

ア 「やってみたい」から自分の生活を楽しく豊かに！

(ア) 事例

【動植物の飼育・栽培 きれいにさいてね わたしのはな】

(イ) 発表者

足立区立竹の塚小学校 塩川 桃子 先生

イ 「環境を通して育まれる学びの芽」

(ア) 事例

【「やってみたい」から始まる5歳児クラスの姿より】

(イ) 発表者

私立くりはら愛育保育園 安山 瑞紀 先生

ウ 「やってみたいから始まる学びの芽」

(ア) 事例

【様々な葉っぱのお茶づくり】

(イ) 発表者

足立区立中島根保育園 高橋 文子 先生 近藤 香菜 先生

(3) 講評

ア 講師

國學院大學 人間開発学部子ども支援学科 教授 吉永 安里 氏

イ 内容

(ア) 定義の意義（実践事例から考える）

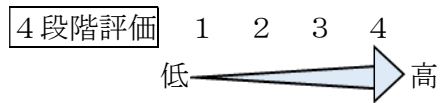
- ① 子どもの思い・願いを引き出し、生かす工夫
- ② 子どもの経験を生かす、耕す工夫
- ③ 子どもの学びの見取りと評価の工夫
- ④ 幼保小をつなぐ環境構成と関わり（物的環境、人的環境）

(イ) 評価とカリキュラムマネジメント

- ① 「知識・技能」の評価の方法
- ② 「思考・判断・表現」の評価の方法
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の方法
- ④ 指導の考え方
- ⑤ 育みたい資質・能力のつながり、カリキュラムのつながり

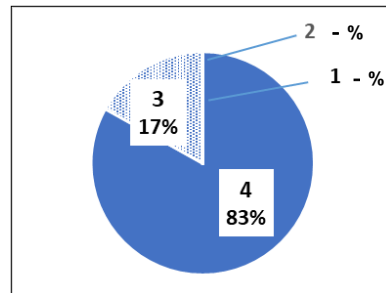
(4) 受講者評価 (※)

※ オンラインによる報告書に移行のため、評価を4段階評価に変更。

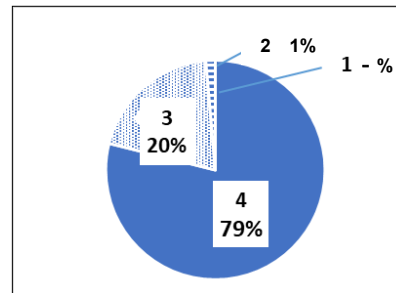


ア 小学校関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】

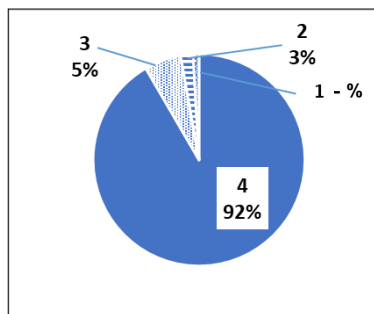


【指導や連携活動に活用できるものであった】

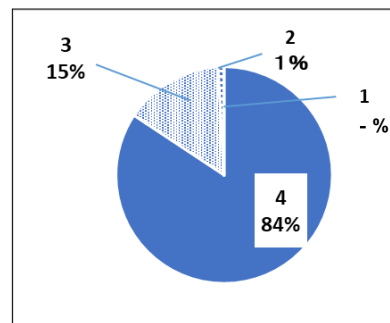


イ 幼児教育関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】

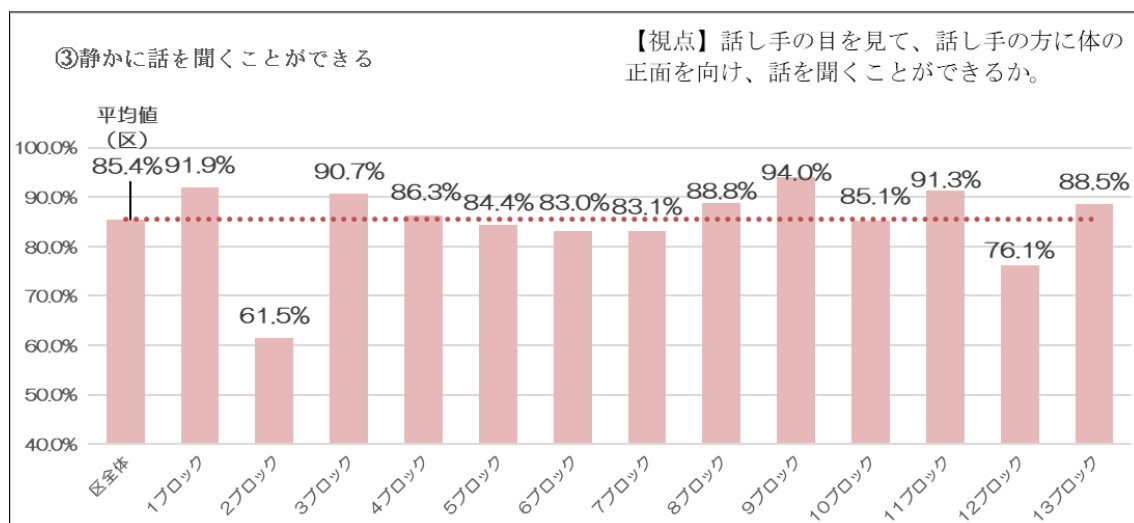
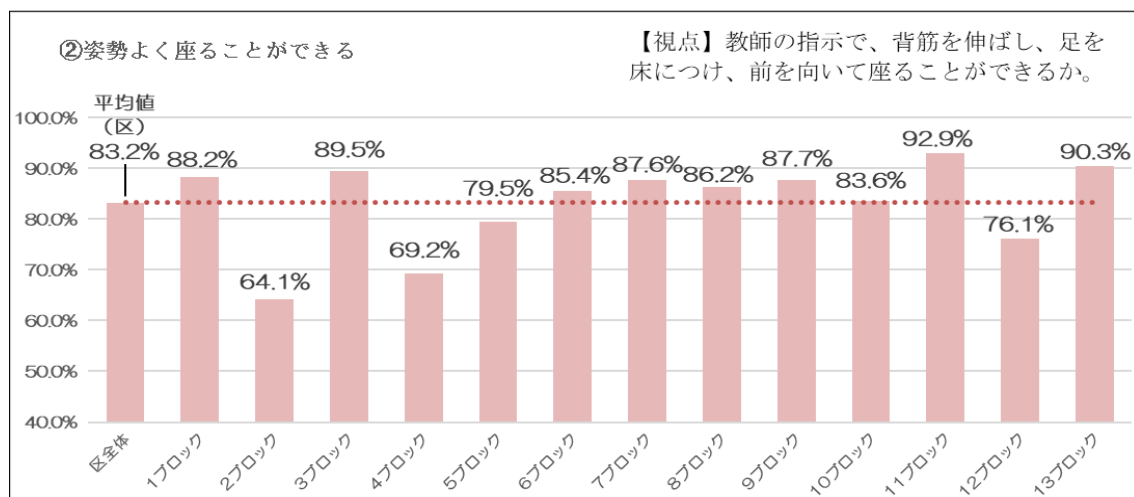
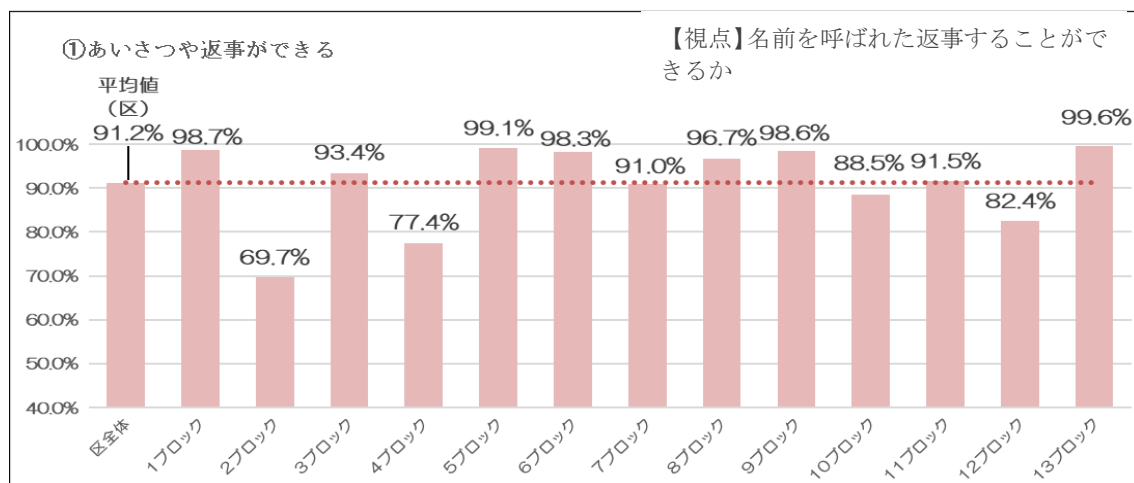


【指導や連携活動に活用できるものであった】

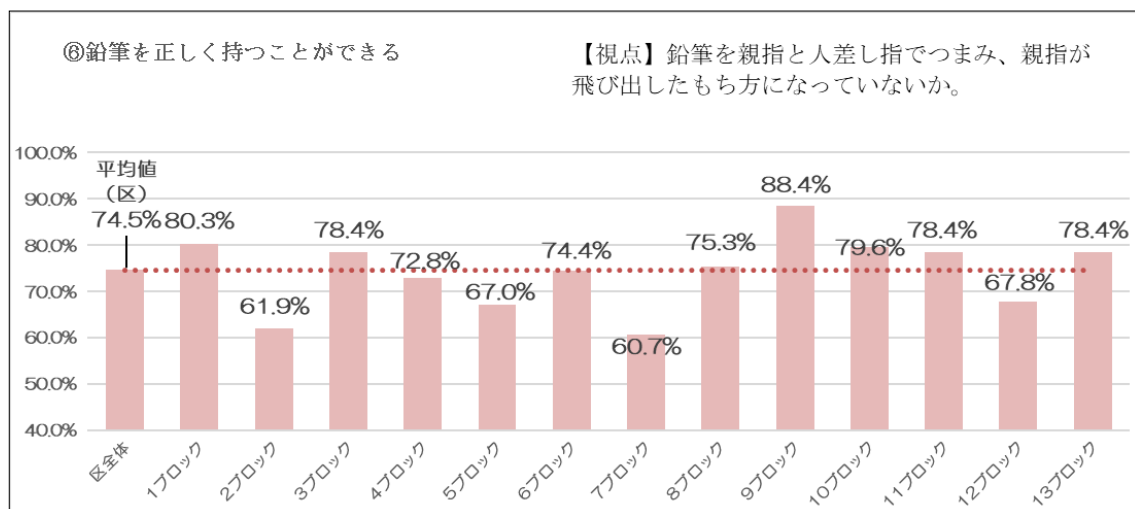
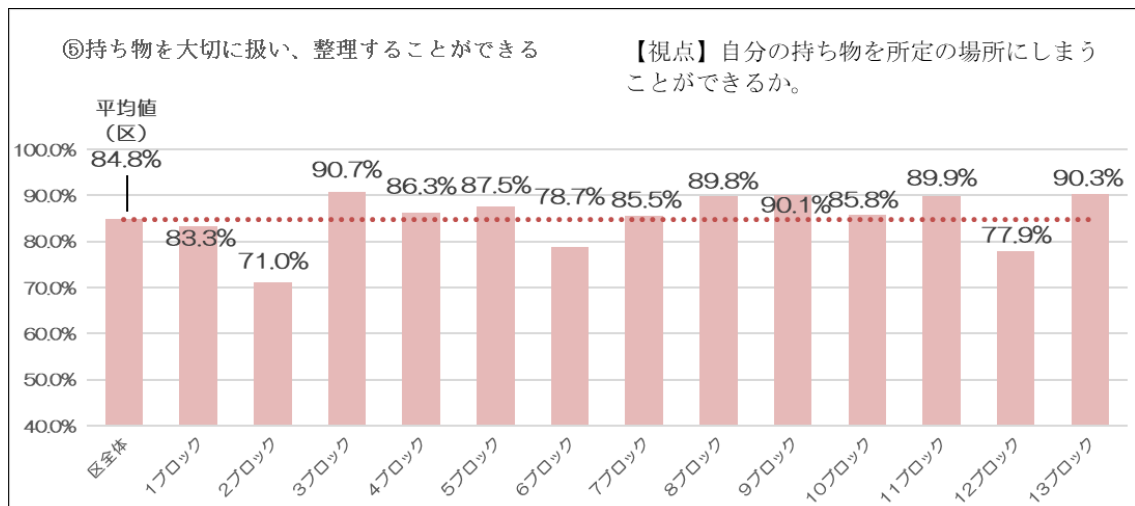
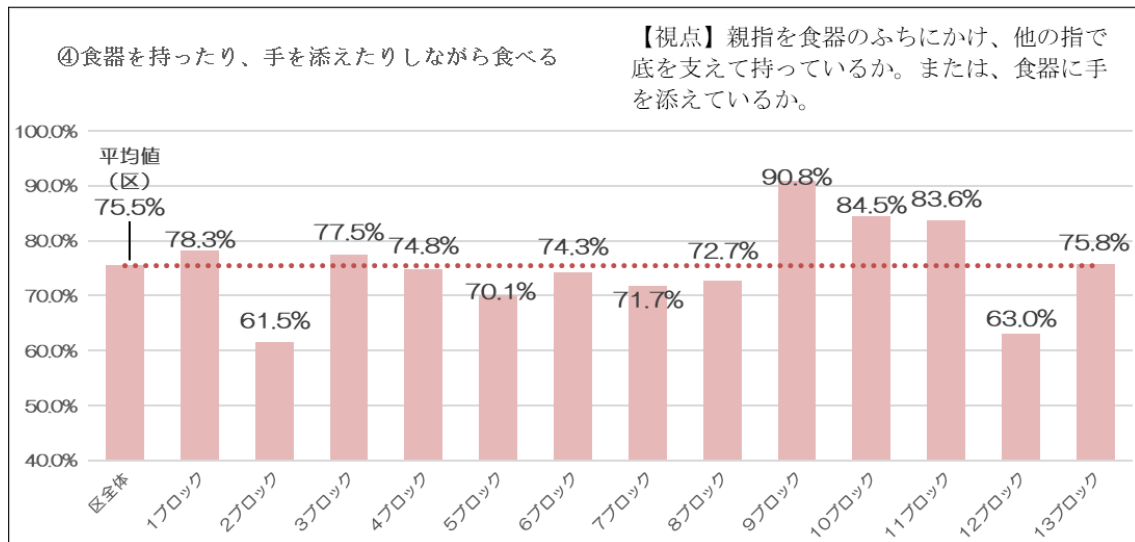


Ⅳ 小学校1年生アンケート項目別結果一覧

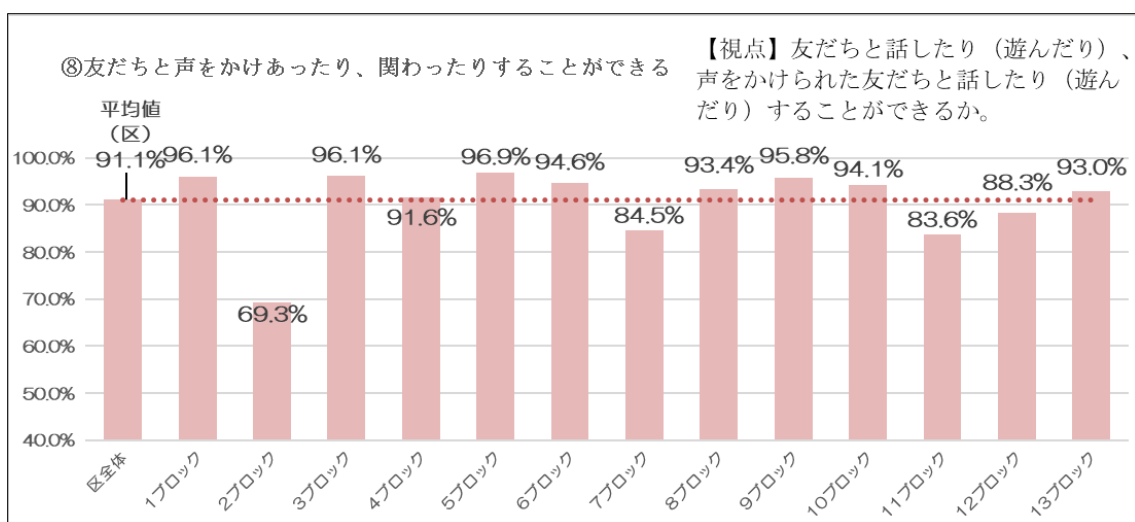
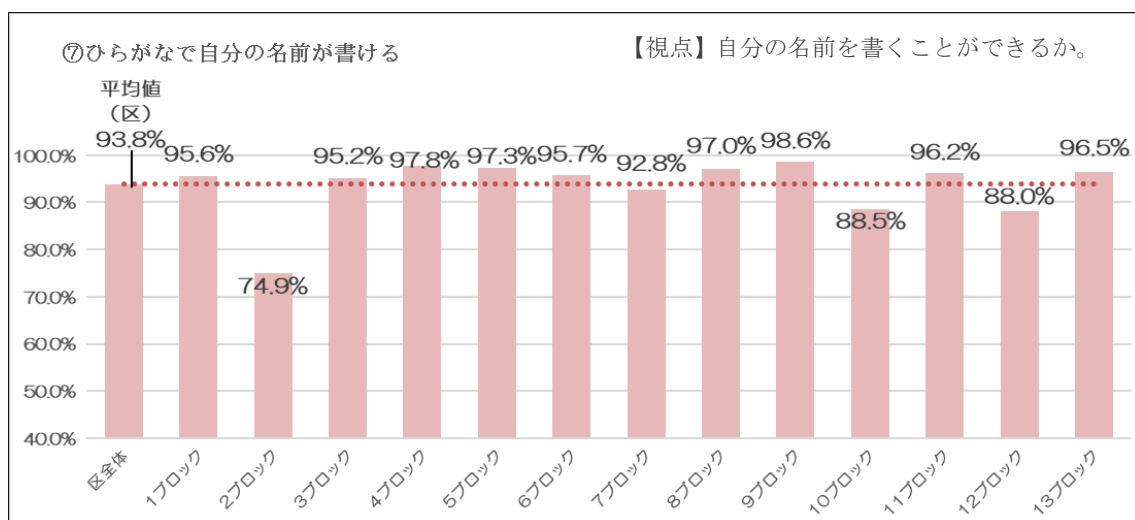
1 ブロック別結果一覧



小学校1年生アンケート項目別結果一覧

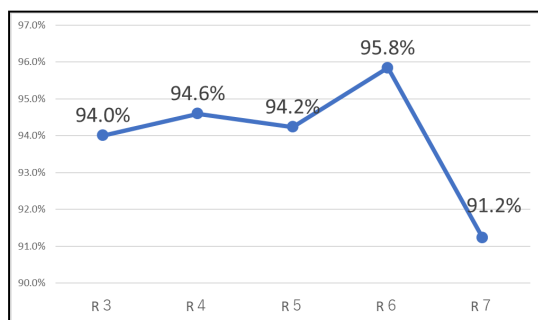


小学校1年生アンケート項目別結果一覧

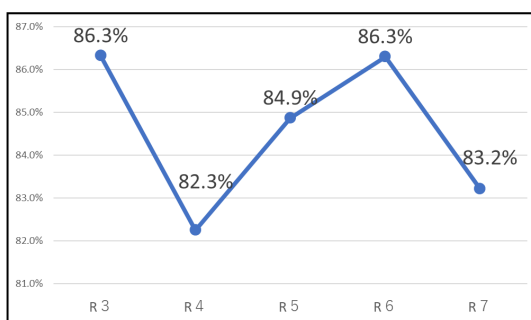


2 アンケート項目別経年表

① あいさつや返事ができる

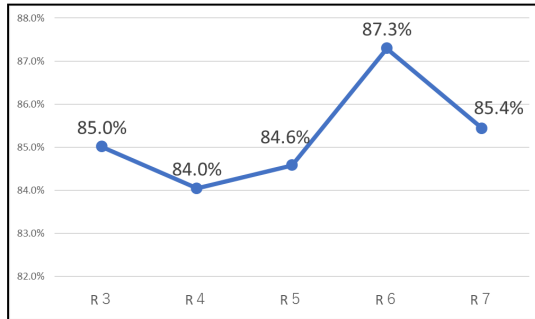


② 姿勢良く座ることができる

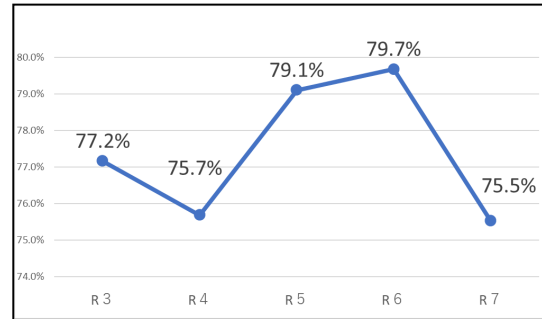


小学校1年生アンケート項目別結果一覧

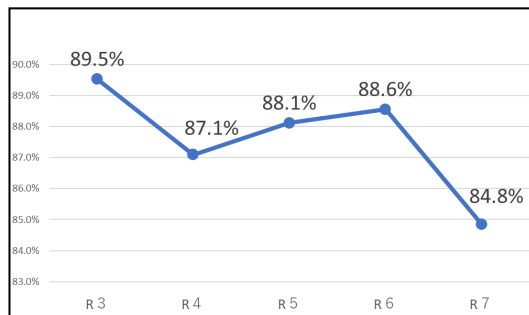
③静かに話を聞くことができる



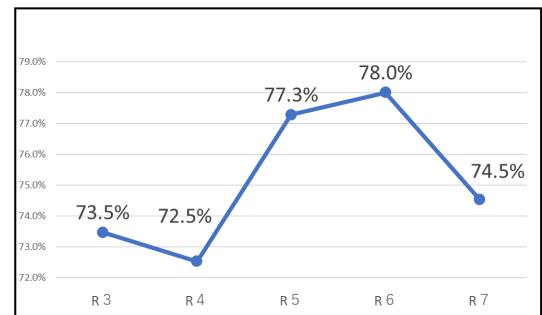
④食器を持ったり、手を添えたりすることができる



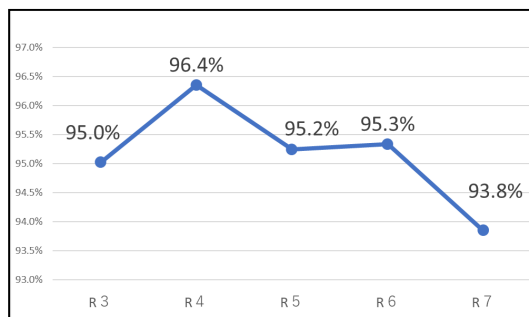
⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる



⑥鉛筆を正しく持つことができる



⑦ひらがなで自分の名前が書ける



※ ⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」は令和7年度から項目追加のため、未掲載



幼保小連携活動報告

令和 7 年 9 月発行

発 行 足立区教育委員会

編 集 足立区教育委員会 子ども家庭部 子ども施設指導・支援課

東京都足立区中央本町 1－17－1

電話 03－3880－5431